

平成25年第1回加賀市議会定例会 予算説明会資料

- 1 平成25年度当初予算・・・・・・・・ 1
- 2 平成24年度3月補正予算・・ 77
- 3 条例等議案・・・・・・・・・・・・ 102

1 平成25年度 当初予算

(1) 総 括

① 会計別予算総括表	2
② 一般会計款別予算額	3
○市債及び基金の状況	5
○合併特例債の活用	7
○過疎・辺地対策事業債の活用	8

(2) 主要事業等の概要

主要事業等の概要	10
--------------------	----

① 会計別予算総括表

△は減を示す（単位：千円）

会 計 別		平成25年度 (A)	平成24年度		比 較		
			当 初 予 算 (B)	現 計 予 算 (C)	対当初予算 (A)-(B)	対現計予算 (A)-(C)	対 当 初 率 伸 率 %
一 般 会 計		28,296,000	29,370,000	29,862,800	△ 1,074,000	△ 1,566,800	△ 3.7
特 別 会 計	国民健康保険	9,014,000	9,400,900	9,521,712	△ 386,900	△ 507,712	△ 4.1
	後期高齢者療 医	806,000	801,700	804,404	4,300	1,596	0.5
	介護保険	6,731,400	6,513,400	6,533,650	218,000	197,750	3.3
	下水道事業	2,736,000	3,130,100	3,029,580	△ 394,100	△ 293,580	△ 12.6
	加賀山代温泉区 財産	138,400	136,200	136,200	2,200	2,200	1.6
	加賀山中温泉区 財産	162,000	161,400	161,400	600	600	0.4
	土地区画業 整理事業	94,900	84,400	84,400	10,500	10,500	12.4
計		19,682,700	20,228,100	20,271,346	△ 545,400	△ 588,646	△ 2.7
企 業 会 計	病院事業	5,692,800	6,764,700	6,766,300	△ 1,071,900	△ 1,073,500	△ 15.8
	水道事業	4,162,800	5,838,900	6,168,412	△ 1,676,100	△ 2,005,612	△ 28.7
	計	9,855,600	12,603,600	12,934,712	△ 2,748,000	△ 3,079,112	△ 21.8
合 計		57,834,300	62,201,700	63,068,858	△ 4,367,400	△ 5,234,558	△ 7.0

② 一般会計款別予算額

(1) 歳入

△は減を示す(単位：千円)

款 別	平成 2 5 年 度		平成 2 4 年 度		比 較	
	予 算 額 (A)	構成比 %	予 算 額 (B)	構成比 %	予 算 額 (A)-(B)	伸 率 %
1. 市 税	8,776,200	31.0	8,978,000	30.6	△ 201,800	△ 2.2
2. 地 方 譲 与 税	262,000	0.9	280,000	1.0	△ 18,000	△ 6.4
3. 利 子 割 交 付 金	30,000	0.1	20,000	0.1	10,000	50.0
4. 配 当 割 交 付 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
6. 地 方 消 費 税 金	690,000	2.5	710,000	2.4	△ 20,000	△ 2.8
7. ゴルフ場利用税金	90,000	0.3	90,000	0.3	0	0.0
8. 自 動 車 取 得 税 金	78,000	0.3	60,000	0.2	18,000	30.0
9. 地方特例交付金	27,000	0.1	27,000	0.1	0	0.0
10. 地 方 交 付 税	7,438,000	26.3	7,080,000	24.1	358,000	5.1
11. 交 通 安 全 対 策 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
12. 分 担 金 担 び 金	669,425	2.3	682,222	2.3	△ 12,797	△ 1.9
13. 使 用 料 及 び 料	418,460	1.5	419,848	1.4	△ 1,388	△ 0.3
14. 国 庫 支 出 金	4,125,719	14.6	4,556,221	15.5	△ 430,502	△ 9.4
15. 県 支 出 金	1,953,046	6.9	1,982,833	6.8	△ 29,787	△ 1.5
16. 財 産 収 入	25,501	0.1	30,962	0.1	△ 5,461	△ 17.6
17. 寄 附 金	3,250	0.0	4,016	0.0	△ 766	△ 19.1
18. 繰 入 金	529,217	1.9	380,465	1.3	148,752	39.1
19. 繰 越 金	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
20. 諸 収 入	404,282	1.4	384,993	1.3	19,289	5.0
21. 市 債	2,732,900	9.7	3,640,440	12.4	△ 907,540	△ 24.9
歳入合計	28,296,000	100.0	29,370,000	100.0	△ 1,074,000	△ 3.7

(2) 歳 出

△は減を示す(単位：千円)

款 別	平 成 2 5 年 度		平 成 2 4 年 度		比 較	
	予 算 額 (A)	構成比 %	予 算 額 (B)	構成比 %	予 算 額 (A)-(B)	伸 率 %
1. 議 会 費	288,620	1.0	313,028	1.1	△ 24,408	△ 7.8
2. 総 務 費	2,873,653	10.2	2,459,736	8.4	413,917	16.8
3. 民 生 費	11,283,607	39.9	11,531,223	39.3	△ 247,616	△ 2.1
4. 衛 生 費	2,752,460	9.7	3,281,868	11.2	△ 529,408	△ 16.1
5. 労 働 費	7,030	0.0	7,160	0.0	△ 130	△ 1.8
6. 農 林 水 産 業 費	340,559	1.2	256,871	0.9	83,688	32.6
7. 商 工 費	900,860	3.2	613,915	2.1	286,945	46.7
8. 土 木 費	2,591,375	9.2	2,795,949	9.5	△ 204,574	△ 7.3
9. 消 防 費	1,224,905	4.3	960,428	3.3	264,477	27.5
10. 教 育 費	2,104,215	7.4	3,173,917	10.8	△ 1,069,702	△ 33.7
11. 災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 公 債 費	3,813,553	13.5	3,832,850	13.0	△ 19,297	△ 0.5
13. 諸 支 出 金	105,163	0.4	133,055	0.4	△ 27,892	△ 21.0
14. 予 備 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	28,296,000	100.0	29,370,000	100.0	△ 1,074,000	△ 3.7

○ 市債及び基金の状況

(1) 市債残高の状況

① 一般会計

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末 残 高	平成23年度末 残 高	平成24年度末 残 高 見 込	平成25年度中 の 増 減	平成25年度末 残 高 見 込
一般会計	37,729	37,987	38,658	△ 570	38,088
合 併 特 例 債	9,464	10,812	11,571	25	11,596
過 疎 対 策 事 業 債	743	738	776	43	819
辺 地 対 策 事 業 債	186	144	121	△ 5	117
臨 時 財 政 対 策 債	8,811	9,821	10,830	1,128	11,958
退 職 手 当 債	1,959	1,896	1,773	△ 166	1,608
そ の 他 の 市 債	16,566	14,576	13,586	△ 1,596	11,990

② 特別会計（企業会計含む。）

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末 残 高	平成23年度末 残 高	平成24年度末 残 高 見 込	平成25年度中 の 増 減	平成25年度末 残 高 見 込
下 水 道 事 業 計	18,193	18,186	18,382	△ 77	18,304
土 地 区 画 整 理 計	216	187	147	11	159
病 院 事 業 会 計	5,093	4,897	5,350	△ 326	5,024
水 道 事 業 会 計	11,375	11,601	13,759	188	13,947
計	34,877	34,871	37,638	△ 203	37,434

合 計	72,606	72,858	76,295	△ 773	75,522
-----	--------	--------	--------	-------	--------

※表中には端数の関係で計数があわない箇所があります。

(2) 基金の状況

① 一般会計

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末 残 高	平成23年度末 残 高	平成24年度末 残 高 見 込	平成25年度中 の 増 減	平成25年度末 残 高 見 込
財 政 調 整 基 金	2,222	2,628	3,009	△ 376	2,633
減 債 基 金	46	746	977	2	979
福 祉 基 金	16	16	16	△ 16	廃止予定 0
国 際 交 流 基 金	96	95	90	△ 4	86
農 林 業 活 性 化 基 金	18	18	18	△ 18	廃止予定 0
九谷焼技能後継者育成基金	2	1	1	0	1
山 中 伝 統 漆 器 後 継 者 育 成 基 金	6	5	4	0	4
三 森 良 二 郎 奨 学 基 金	270	266	262	△ 4	257
奨 学 基 金	14	13	12	△ 1	12
紙 谷 用 水 路 管 理 基 金	7	7	7	0	8
山 中 温 泉 地 域 振 興 基 金	121	114	96	△ 22	74
山 中 温 泉 医 療 セ ン タ ー 基 金	0	0	0	0	廃止予定 0
ま ち づ く り 振 興 基 金	1,695	1,690	1,696	△ 11	1,685
環 境 基 金	4	3	3	0	3
職 員 退 職 手 当 基 金	90	120	210	0	211
環 境 美 化 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	71	108	143	36	179
産 業 人 材 育 成 基 金	66	64	60	△ 4	55
国 民 健 康 保 険 出 産 費 貸 付 基 金	5	5	5	△ 5	廃止予定 0
美 術 品 等 購 入 基 金	60	60	60	△ 60	廃止予定 0
一般会計 計	4,808	5,950	6,670	△ 484	6,186

② 特別会計

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末 残 高	平成23年度末 残 高	平成24年度末 残 高 見 込	平成25年度中 の 増 減	平成25年度末 残 高 見 込
国 民 健 康 保 険 事 業 調 整 基 金	0	0	302	△ 85	218
介 事 業 護 調 整 基 金	451	362	318	△ 37	281
介 財 政 護 安 定 化 基 金			5	△ 2	2
介 護 従 事 者 処 遇 改 善 臨 時 特 例 基 金	14	0	平成23年度末に廃止		
加 賀 山 代 温 泉 財 産 区 事 業 調 整 基 金	70	77	98	△ 3	95
加 賀 山 中 温 泉 財 産 区 事 業 調 整 基 金	133	142	149	3	152
特別会計 計	669	581	871	△ 124	747

合 計	5,477	6,531	7,542	△ 608	6,934
-----	-------	-------	-------	-------	-------

※表中には端数の関係で計数があわない箇所があります。

○ 合併特例債の活用

平成17年度～平成27年度における合併特例債発行可能額		
標準全体事業費分	標準基金規模分	合 計
14,529,800 千円	1,558,000 千円	16,087,800 千円

年 度	事業費分	基 金 分	合 計
平成17年度発行額	512,200 千円	513,000 千円	1,025,200 千円
平成18年度発行額	744,300 千円	513,000 千円	1,257,300 千円
平成19年度発行額	710,000 千円	532,000 千円	1,242,000 千円
平成20年度発行額	1,009,900 千円		1,009,900 千円
平成21年度発行額	2,693,700 千円		2,693,700 千円
平成22年度発行額	2,484,000 千円		2,484,000 千円
平成23年度発行額	1,610,600 千円		1,610,600 千円
平成24年度発行額	1,070,700 千円		1,070,700 千円
平成17年度～ 平成24年度累計	金 額	10,835,400 千円	12,393,400 千円
	発行率	74.6 %	77.0 %
平成25年度発行額	427,200 千円		427,200 千円
平成17年度～ 平成25年度累計	金 額	11,262,600 千円	12,820,600 千円
	発行率	77.5 %	79.7 %

○ 平成25年度当初予算に計上した合併特例債充当事業の一覧

☆はH25年度新規充当（単位：千円）

事 業 名	事業費	他の特定財源		
		他の特定財源	合併特例債	一般財源
☆庁舎整備事業 （市庁舎非常用自家発電設備設置）	60,100	0	57,000	3,100
☆地区会館整備事業 （三谷地区会館）	29,200	0	27,700	1,500
☆旧市営斎場解体・跡地整備事業 （山田町地内）	58,800	0	55,800	3,000
☆県営急傾斜地対策事業負担金 （大聖寺岡町地内）	5,150	2,500	2,400	250
☆市道C第174号線舗装修繕事業 （西島町～七日市町）	15,750	7,500	7,800	450
市道A第172号線道路改良事業 （大聖寺上木町～三木町）	190,550	92,500	93,100	4,950
市道C第313号線緊急避難道路整備事業 （新保町地内）	37,019	22,211	14,000	808
市道B第14号線南加賀道路整備事業 （河南町～山代温泉1区）	84,500	44,000	38,400	2,100
県営道路整備事業負担金 （南加賀道路）	5,900	0	5,600	300
☆橋梁整備費 （中島町地内 樋ノ橋架け替え）	42,000	22,000	19,000	1,000
県営街路整備事業負担金 （山中温泉中央南線）	6,000	0	5,700	300
☆高機能消防指令センターシステム整備事業	213,000	116,427	91,700	4,873
☆片山津統合分団人員兼資機材搬送車整備事業	4,070	0	3,800	270
☆（仮称）加賀大聖寺人物館整備事業 （大聖寺越前町地内）	8,100	0	5,200	2,900
計	760,139	307,138	427,200	25,801

○ 過疎対策事業債の活用

平成25年度過疎対策事業債予算計上額

一般会計分 病院事業会計分

・ 過疎対策事業債（ソフト分）	51,600 千円	(51,600千円)	(0千円)
・ 過疎対策事業債（ハード分）	128,000 千円	(99,400千円)	(28,600千円)
合計	179,600 千円	(151,000千円)	(28,600千円)

○ 平成25年度当初予算に計上した過疎対策事業債（ソフト分）充当事業の一覧

☆はH25年度新規充当（単位：千円）

事業名	事業費	一般会計分		
		他の特定財源	過疎対策事業債	一般財源
経営改善普及事業助成事業 （山中商工会）	6,600	0	6,600	0
山中温泉地区まちづくり事務局・活動助成事業 （山中温泉地区・河南地区・西谷地区・東谷地区）	12,300	0	12,000	300
漆器振興推進事業助成事業	11,010	0	11,000	10
山中漆器産業技術センター運営負担金	3,612	0	3,600	12
加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業 （保存整備事業助成）	45,340	30,491	14,800	49
☆観光地ブランド化推進事業助成事業 （山中温泉観光協会）	8,000	4,000	3,600	400
計	86,862	34,491	51,600	771

○ 平成25年度当初予算に計上した過疎対策事業債（ハード分）充当事業の一覧

☆はH25年度新規充当（単位：千円）

事業名	事業費	一般会計分		
		他の特定財源	過疎対策事業債	一般財源
山中温泉医療センター医療器械等整備事業（※注）	60,000	31,325	28,600	75
加美谷線整備事業（山中温泉長谷田町地内）	102,900	49,000	53,900	0
☆旧よしのや依緑園別荘整備事業 （鶴仙溪眺望広場整備）	10,000	0	10,000	0
☆加賀温泉郷サイン設置事業	3,000	0	3,000	0
☆市道D第196号線舗装改良工事（山中温泉地内）	2,500	0	2,500	0
☆山中分署高規格救急車整備事業	30,076	0	30,000	76
計	208,476	80,325	128,000	151

（※注）

・ 病院事業会計で起債（事業費に対して、病院事業債を超えない範囲で過疎対策事業債を発行）

→事業費60,000千円に対して、病院事業債を28,700千円、過疎対策事業債を28,600千円発行予定。

○ 辺地対策事業債の活用

平成25年度辺地対策事業債予算計上額

・ 辺地対策事業債 30,900 千円

○ 平成25年度当初予算に計上した辺地対策事業債充当事業の一覧

(単位：千円)

事業名	事業費	財源		
		他の特定財源	辺地対策事業債	一般財源
県営広域林道整備事業負担金（林道安谷線）	9,090	0	9,000	90
九谷磁器窯跡整備事業	43,593	21,550	21,500	543
加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業 （旧曾良家住宅主屋整備実施設計）	1,260	847	400	13
計	53,943	22,397	30,900	646

平成25年度 当初予算 主要事業等の概要

※会計名の表示のない事業等については、一般会計予算であることを表します。

○ 議会事務局

- 1 議会広報に関する市民アンケート事業……………13

○ 総務部

- 2 防災力の強化事業……………14
- 3 米軍再編交付金事業……………15
- 4 加賀温泉駅周辺整備計画推進調査事業……………16
- 5 地域交通対策事業……………17
- 6 北陸新幹線整備推進事業……………18
- 7 統合新病院建設事業……………19
 - [病院事業会計]
- 8 医療提供体制推進事業……………20
 - [一部病院事業会計を含む]
- 9 医師確保対策事業（ドクターカガ ホームカミング事業）……………21
 - [病院事業会計]

○ 市民部

- 10 成年後見制度利用支援事業……………22
 - [一部介護保険特別会計を含む]
- 11 障がい者虐待防止対策事業……………23
- 12 老人福祉施設整備助成事業……………24
- 13 ヘッドスタートモデル事業……………25
- 14 不育治療費助成事業……………26
- 15 アレルギー除去食担当調理員助成事業……………27
- 16 滞納整理推進事業（南加賀地区地方税滞納整理機構への参加）……………28
- 17 第2期 特定健康診査等実施事業……………29
 - [国民健康保険特別会計]
- 18 介護予防・日常生活支援総合モデル事業……………30
 - [介護保険特別会計]
- 19 認知症予防事業（認知症早期発見対応体制構築）……………31
 - [介護保険特別会計]

○ 地域振興部

20	観光フィールド大学開催事業	32
21	加賀温泉郷観光誘客宣伝事業	33
22	北陸新幹線開業 PR 推進事業	35
23	越前加賀宗教文化街道推進事業	36
24	加賀温泉郷観光誘客促進施設整備助成事業	37
25	加賀温泉郷サイン整備事業	39
26	平成の加賀魯山人プロジェクト事業	40
27	食のブランド化事業	41
28	伝統工芸等担い手育成事業	42
29	農業生産総合対策事業	43
30	橋立漁港周辺整備事業（基本整備構想・計画策定業務）	44
31	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	45
32	ラムサール条約登録関連事業	46
33	片野鴨池坂網猟後継者育成事業	47
34	まちづくり運動推進事業	48

○ 建設部

35	生活道路・側溝整備事業	49
36	主要道路整備事業（継続事業）	50
	市道A第172号線道路改良事業（大聖寺上木町～三木町）	
	市道B第14号線南加賀道路整備事業（河南町～山代温泉1区）	
37	市道C第463号線橋梁修繕事業	51
38	国道8号道の駅調査事業	52
39	加美谷線整備事業（山中温泉長谷田町地内）	53
40	赤瓦の景観推進事業	54
41	歴史的建物活用検討事業	55

○ 山中温泉支所

42	旧よしのや依緑園別荘整備事業（鶴仙溪眺望広場整備）	56
----	---------------------------	----

○ 消防本部

43	高機能消防指令センターシステム整備事業	57
44	消防車両等整備事業	58

○ 教育委員会

45	教育体制整備計画策定事業	59
46	錦城中学校普通教室等冷房化事業	60
47	学校体育館非構造部材の耐震化対策事業	61
48	スクールソーシャルワーカー配置事業（小・中学校）	62
49	「（仮称）山中節のルーツ -誕生秘話-」DVD制作事業	63
50	図書館活性化事業	64
51	第1回加賀温泉郷マラソン大会開催助成事業	65
52	九谷焼開窯360年記念事業	66
53	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業	67
54	（仮称）加賀大聖寺人物館整備事業	68
55	九谷磁器窯跡整備事業	69
56	伝統的建造物群保存地区保存整備事業	70

○ 上下水道部

57	下水道処理区統合検討調査	71
	〔下水道事業特別会計〕	
58	加賀公共下水道事業（片山津・大聖寺川処理区管渠築造事業）	72
	〔下水道事業特別会計〕	
59	合併処理浄化槽設置助成事業	73
	〔下水道事業特別会計〕	
60	創設拡張事業	74
	〔水道事業会計〕	
61	水道施設統合化整備事業（七日市系）	75
	〔水道事業会計〕	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(議会事務局)

事業名	議会広報に関する市民アンケート事業 〔予算計上科目：1款1項1目中 議会広報広聴費〕
事業の目的	議会広報に関するアンケートを市民に対して実施する。 これまでの改善の成果や今後の課題に対する市民の声を聞くことで、議会広報の充実を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 840千円 3 事業内容 議会広報に関する市民アンケートの実施 4 財源内訳 市（一般財源） 840千円
予算額	840千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 防災防犯対策室・財政課)

事業名	防災力の強化事業	予算計上科目：9款1項5目中 // 2款1項7目中 防災訓練費 防災活動推進費 庁舎整備費
事業の目的	市民主役の防災活動を推進し、家庭から地域まで地域ぐるみで防災力の向上を図る。 また、災害発生時における業務継続に向け、庁舎非常用自家発電設備を整備する。	
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 70,082千円 3 事業内容 (1) 防災活動推進事業 8,882千円 ① 防災冊子「防災先生」作成事業 8,000千円 これまで公表した各種ハザードマップを一冊にまとめ、市内全世帯に配布する。 ② 自主防災リーダー養成事業 322千円 県及び市で1/2ずつ補助することで、市内で年間10名の防災士有資格者を育成する。 ③ 防災士会及び防災リーダー会運営補助事業 278千円 市民が主役の防災活動を推進するため、防災に関係する団体への運営補助を行う。 ④ 災害備蓄品の購入 263千円 災害に備え、被災乳児の食料（乳児用ミルク）を備蓄する。 ⑤ その他諸経費 19千円 (2) 総合防災訓練事業 1,100千円 初の取組みとして「NPO法人防災ネットワークみらい」、「加賀市防災士会」、「加賀市防災リーダー会」が企画段階から参画し、市民主役の総合防災訓練を実施する。 (3) 市庁舎非常用自家発電設備整備事業 60,100千円 災害発生時の「加賀市業務継続計画（BCP）」策定に向け、非常時に市役所庁舎内で約72時間の電力供給が可能となるよう環境を整える。 4 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金） 3,000千円 市町村振興協会交付金 2,900千円 市（合併特例債） 57,000千円 市（一般財源） 7,182千円	
予算額	70,082千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 企画課)

事業名	米軍再編交付金事業		
事業の目的	駐留米軍の再編に伴い小松基地で移転訓練が実施されることにより、国より10年間に渡って再編交付金が交付される。 訓練実施により騒音等の影響を受ける地域における住民の生活の利便性向上及び市全体の公共の福祉等に資する事業を実施する。		
事業の概要	1 事業年度 平成19年度～平成28年度 2 再編交付金交付額（上限額） 平成19年度～平成23年度（各年 151,518千円） 平成24年度～平成28年度（毎年 10%ずつ逡減） <u>10年間の総交付額 1,287,901千円</u> 3 平成25年度事業概要 (1) 事業費 145,806千円 (2) 事業内容 ① ごみ処理施設設備改修事業（地域振興部環境課） 17,311千円 2号給じん機改修ほか2件の改修 ② 側溝整備事業（建設部土木課） 40,000千円 湖北・金明・橋立地区における生活環境改善 ③ 片山津統合分団車庫整備事業（消防本部消防課） 27,930千円 片山津地区の消防分団統合に伴う分団車庫の整備 ④ 小学校体育館屋根防水工事（教育委員会教育庶務課） 15,000千円 動橋小学校体育館の屋根防水 ⑤ 小学校給食室冷房設置工事（教育委員会教育庶務課） 7,500千円 片山津小及び分校小の給食室の冷房設置 ⑥ 中学校講堂屋根防水工事（教育委員会教育庶務課） 19,215千円 錦城中学校講堂の屋根防水 ⑦ スポーツセンター アリーナライン引き工事（教育委員会スポーツ課） 3,100千円 アリーナの競技ライン引き ⑧ 鉛給水管更新事業（上下水道部水道課：水道事業会計） 15,750千円 鉛給水管の更新（松が丘）105箇所 (3) 財源内訳 国（再編交付金）121,214千円 市（市債） 5,700千円 市（一般財源） 18,892千円		
予算額	145,806千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 企画課)

事業名	加賀温泉駅周辺整備計画推進調査事業 〔予算計上科目：2款1項8目中 企画調査費〕
事業の目的	加賀温泉駅周辺地域は、平成28年4月の統合新病院の開業、平成37年度に予定される北陸新幹線駅の開業など、これからの加賀市の街づくりの核となる地域であることから、都市機能の集約はもちろん、加賀温泉郷を発信する個性ある街づくりのコンセプトに基づく整備を推進する必要がある。このため、整備に係るリーディングプランの策定に向け、課題整理等の調査を実施する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 6,000千円 3 事業内容 平成24年度に策定した都市活性化ビジョンの具体化に向け、各ゾーンの機能、規模、内容などについて調査を行う。 (1) プラン策定の視点 ① 白山の眺望と調和する赤瓦景観のあり方 ② 景観計画や都市計画マスタープラン等既存計画との整合 ③ 既存建築物の扱い（周辺環境との調和と所有者の理解） ④ 開発の手法（土地区画整理等）と農地転用の方向性 ⑤ 「国道8号道の駅」計画との整合 (2) 調査内容 クール加賀 300万人構想の実現に向け、重要な都市機能となる「コンベンションゾーン」について、より具体的な調査を行うほか、他ゾーンについての課題整理等の基礎調査を行う。 ① 他地域における新幹線駅周辺のコンベンション機能調査 ② 加賀市のコンベンション、会議等の開催状況調査 ③ 将来の加賀市のコンベンション需要調査 ④ 加賀市に期待されるコンベンション機能調査 ⑤ 付帯サービス（レストラン、サービスセンター等）調査 ⑥ 新幹線駅、病院、量販店、文教施設との連携調査 ⑦ 外観及び内装デザイン（九谷焼や山中漆器の活用）調査 ⑧ 白山等周辺環境との調和についての調査 ⑨ 立地可能な土地の状況調査 4 財源内訳 市（一般財源） 6,000千円
予算額	6,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 企画課)

事業名	地域交通対策事業 〔予算計上科目：2款1項8目中 地域交通対策費〕
事業の目的	「加賀市地域交通基本条例」の理念に基づき、自ら自動車を運転できない高齢者や中高生等の移動時の利便性を確保するため、路線バスや周遊バス、乗合タクシーの維持・充実等に取り組む。また、平成28年4月の統合新病院開業に向け、多様な交通手段の導入の可能性について検討を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 69,700千円 3 事業内容 (1) 生活バス路線及び乗合タクシー運行助成（53,718千円） ① 生活バス路線（4路線）維持・活性化助成 ② 乗合タクシー（2地区）運行にかかる助成 ③ バリアフリー対応型バス車両購入助成（加賀温泉バス㈱） (2) キャンバス停留所負担金及びおでかけ応援車両関係諸経費（9,525千円） ① キャンバス公共施設停留所負担金（既設11カ所） ② キャンバス地域停留所負担金（既設8カ所） ③ おでかけ応援車両保険料等 (3) 生活路線バス利用促進事業（775千円） ① 「第3回子ども絵画展 in バス」開催助成及び利便性向上助成（ベンチ設置） ② 利用促進用パンフレット作成費 (4) 新交通体系実現可能性調査事業（3,000千円） ① 統合新病院開業後の多様な交通手段の導入可能性調査 (5) 金沢2次交通実証運行及び小松空港活性化対策事業（2,500千円） ① 山側2次交通（加賀温泉郷リムジンバス）実証運行負担金 ② 小松空港協議会負担金（空港シャトルバス等負担金） (6) 地域公共交通会議開催費等（182千円） 4 財源内訳 市（一般財源） 69,700千円
予算額	69,700千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 企画課)

事業名	北陸新幹線整備推進事業 〔 予算計上科目：2 款 1 項 8 目中 北陸新幹線建設促進費 〃 北陸新幹線整備負担金 〕
事業の目的	昨年6月に国の着工認可が下りた北陸新幹線金沢・敦賀間の整備費の一部を負担するとともに、「北陸新幹線建設促進加賀市民会議」での積極的な活動展開により、速やかな事業の推進と早期開業を図る。 また、平成27年3月の金沢暫定開業後、第3セクターに移管される並行在来線（金沢・倶利伽羅間）の運賃値上げ抑制や乗り継ぎ割引支援等のため、県及び県内14市町で造成する「石川県並行在来線運行支援基金（仮称）」に対して、応分の負担を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成37年度（予定） 2 平成25年度事業費 2,900千円 3 事業内容 (1) 北陸新幹線整備事業負担金（2,000千円） ・ 北陸新幹線金沢・敦賀間整備に伴う加賀温泉駅部整備に係る加賀市負担分 (2) 「北陸新幹線建設促進加賀市民会議」負担金（400千円） ・ 市民会議総会開催費及び県民会議参加費 ・ 市民講演会開催費 (3) 「石川県並行在来線運行支援基金（仮称）」負担金（500千円） ・ 北陸新幹線金沢暫定開業に伴う並行在来線（金沢・倶利伽羅間）の運行支援のための基金 ・ 運賃値上げ抑制、乗り継ぎ割引支援、災害復旧等の目的で造成 ・ 基金の総額：30億円（県と金沢市、津幡町等県内14市町で当該路線の利用実態に応じて負担） 4 財源内訳 - 市（北陸新幹線整備事業債） 1,800千円 - 市（一般財源） 1,100千円 (北陸新幹線エクステリアパス)
予算額	2,900千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 医療提供体制推進室) 病院事業会計

事業名	統合新病院建設事業 [予算計上科目：資本的支出3款1項1目 病院建設改良費]	
事業の目的	医療提供体制基本構想及び統合新病院建設基本計画に基づき、救急医療を始めとした医療提供体制の問題を解決することを目的として、加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合し、急性期医療と救急受入れ機能を強化した統合新病院を建設する。	
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成27年度 2 総事業費 10,215,000千円 3 事業内容 加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合し、急性期医療と救急受入れ機能を強化した統合新病院を建設する。 4 平成25年度事業 (1) 事業費 110,765千円 (2) 事業内容 ① 統合新病院の建設 ア) 統合新病院建設費(設計者・造成費・建築費)前払金 100,000千円 (平成24年度～平成27年度債務負担行為 6,750,000千円) イ) 開発行為申請手数料等 497千円 ウ) 基本設計市民説明会費 490千円 ② 加賀市民病院及び山中温泉医療センター組織統合 ア) 統合協議会の開催等 1,378千円 イ) 病院統合支援業務委託(平成24年度～平成25年度債務負担行為) 8,400千円 (3) 財源内訳 病院事業債 61,600千円 一般会計繰入金(再編債) 21,700千円 病院事業会計内部留保金 27,465千円	
予算額	110,765千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 医療提供体制推進室) 一般会計、病院事業会計

事業名	医療提供体制推進事業 { 予算計上科目：一般会計 病院事業会計収益的支出 1 款 1 項 3 目 // 会計資本的支出 3 款 1 項 1 目 2 款 1 項 8 目中 医療提供体制推進費 経費 病院建設改良費 }
事業の目的	医療提供体制基本構想に基づく医療提供体制の構築を目的とし、統合新病院の建設と並行して、救急医療連携体制、在宅医療連携体制、看護師養成などの調査検討を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成27年度 2 事業内容 統合新病院建設以外の医療提供体制基本構想に基づく取り組みに係る事業 3 平成25年度事業 (1) 事業費 3,358千円 { 一般会計 病院事業特別会計 2,958千円 400千円 } (2) 事業内容 ① 医療提供体制の構築 1,541千円 ア) 医療提供体制推進委員会の開催 イ) 専門部会の開催 (救急体制病診連携部会・看護師養成部会・女性アドバイザー部会) ② 在宅医療の推進 1,817千円 ア) 在宅医療シンポジウムの開催 イ) 在宅医療関係者連絡会の開催 (3) 財源内訳 市(一般財源) 2,958千円 病院事業会計収益的収入 385千円 病院事業会計内部留保金 15千円
予算額	3,358千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(総務部 医療提供体制推進室) 病院事業会計

(病院管理部 総務課) 病院事業会計

事業名	医師確保対策事業（ドクターカガ ホームカミング事業） 〔予算計上科目：収益的支出 1 款 1 項 3 目 経費〕
事業の目的	医療提供体制の確保のため、加賀市ゆかりの医師を中心とした人的ネットワークの活用により、医師が加賀市で働くための情報提供などを行い、医師確保につながる取り組みを行う。
事業の概要	1 事業費 2,204千円 2 事業内容 (1) 加賀市ゆかりの医師に対する情報提供 ① 医師支援策パンフレット等の作成 ② インターネットサービス（Facebook、Twitter など）による情報発信 ③ 大都市（東京・大阪等）の医師が多く集まるイベントでの広報活動 ④ 加賀市出身医師への個別訪問 (2) 中学生向けに職業としての医療を紹介 中学校において医師や看護師（看護学校）などによる職業としての医療に関する講話を行う。 3 財源内訳 病院事業会計収益的収入 2,204千円
予算額	2,204千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 地域福祉課・障がい福祉課) 一般会計

(長寿課) 介護保険特別会計

事業名	成年後見制度利用支援事業 予算計上科目：一般会計 3款1項1目中 成年後見制度利用支援事業費 // 3款1項2目中 // 介護保険会計4款1項3目中 その他事業費
事業の目的	意思決定に際し支援を必要とする人の権利擁護を推進することを目的とし、加賀市社会福祉協議会が設置する「成年後見センター」において実施する独自事業に加えて、成年後見制度の周知や後見人の育成、フォローアップ研修等を市協働事業として実施することにより、「成年後見センター」事業を支援する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 1,586千円 3 事業内容 (1) 委託先 加賀市社会福祉協議会 (2) 委託内容 ① 相談・申立手続き支援事業 専門相談の実施やケース検討会議の開催 ② 成年後見制度の周知事業 制度PR研修会の実施、周知用パンフ、冊子の作成・配布、ホームページ作成 ③ 市民後見人の活用と支援事業 フォローアップ研修会の開催 ④ 成年後見センター運営委員会開催事業 4 財源内訳 国（地域生活支援事業統合補助金、地域支援事業費交付金） 717千円 県（ // ） 185千円 市（一般財源） 684千円 5 その他 地域福祉課（280千円）、障がい福祉課（653千円）、地域包括支援センター（653千円）で予算措置
予算額	1,586千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 障がい福祉課)

事業名	障がい者虐待防止対策事業 〔予算計上科目：3款1項2目中 障害者虐待防止対策費〕		
事業の目的	障害者虐待防止法（平成24年10月1日施行）の規定に基づく「市町村虐待防止センター」の機能として、障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、地域における関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 2,670千円 3 事業内容 (1) 相談窓口の強化 「虐待防止センター」機能の充実を図るため、障害者総合支援法（平成25年4月1日施行）に規定する地域生活支援事業の相談支援事業の委託を予定している市内4相談支援事業所に、虐待通報、届出の受理、虐待を受けた障がい者の保護のための相談、指導助言に係る業務を委託する。 (2) 一時保護対応 緊急時における一時保護のための居室の確保及び日常生活用品の購入 (3) 普及啓発事業 市民を対象とした啓発 (4) 心のケア（カウンセリング） 加害者、被害者を対象とした臨床心理士による心のケア 4 財源内訳 国（障害者虐待防止対策支援事業補助 1/2） 1,452千円 ※ 普及啓発事業は定額500千円補助 市（一般財源） 1,218千円		
予算額	2,670千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 長寿課)

事業名	老人福祉施設整備助成事業 〔予算計上科目：3款1項5目中 施設整備費〕	
事業の目的	高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、第5期介護保険事業計画（H24～H26）期間中において、介護保険サービスを自宅に近い場所で提供できる地域密着型サービス事業所を3か所整備することとしている。 平成24年度に1事業所の整備が完了する見込みであり、平成25年度に残り2か所の整備を行い、在宅支援サービス提供体制の早期構築を目指す。	
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 85,800千円 3 事業の内容等 (1) 介護基盤緊急整備特別対策事業 ① 事業費 ア) 小規模多機能型居宅介護拠点整備助成 60,000千円 (30,000千円 × 2か所) イ) 併設介護予防拠点整備助成 15,000千円 (7,500千円 × 2か所) ロ) 施設開設準備支援助成 10,800千円 (5,400千円 × 2か所) ② 事業内容 市内2か所で、高齢者の在宅生活を支援するための小規模多機能型居宅介護事業所（介護予防拠点併設）の整備及び開設準備に対する補助を行う。 市内7つの生活圏域（大聖寺・山代・片山津・橋立・動橋・作見・山中）のうち、当施設を整備する圏域は、各圏域における高齢者数や介護認定者数、各圏域の特性を勘案して決定する。 4 財源内訳 県（介護基盤緊急整備等臨時特例交付金 10/10） 85,800千円	
予算額	85,800千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 こども課)

事業名	ヘッドスタートモデル事業 〔予算計上科目：3款2項1目中 子育て応援プラン費〕
事業の目的	山代温泉地区では、生活保護や就学援助などの公的扶助や小中学生の不登校、非行問題が他の地区と比較すると多く、地域において取り組むべき課題の一つとなっている。 このような状況を受け、市と山代温泉地区が連携し、ヘッドスタート（※）モデル事業を実施する。 ※ヘッドスタート事業とは、総合的な家族支援として、貧困問題を抱える家庭の子ども等に早期学習環境などを用意し、貧困の壁を越えて育つ機会を与えることを目的とするもの。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 1,500千円 3 事業内容 山代温泉地区をモデル地区とし、総合的な家族支援として、次の5つの視点から、「まちづくり推進協議会」など地域の諸団体が実施する自主的な支援プログラムに対し補助金を交付する。 【事業の例】 ① 学習機会の確保 学力不振の子どもを対象にした学習サポート事業など ② 地域からの孤立の解消 地域団体等による朝食の欠食対策への取り組みなど ③ 親育ちの取り組み 育児不安等を抱えている親を対象とした「親育ち」の取り組みなど ④ 相談体制の強化 引きこもりがちな家庭等を支援するホームビジターの養成事業など ⑤ 就労の支援 進路相談や地域での就労体験事業の取り組みなど 4 財源内訳 市（一般財源） 1,500千円
予算額	1,500千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 こども課)

事業名	不育治療費助成事業 〔予算計上科目：3款2項1目中 子育て応援プラン費〕
事業の目的	不育治療とは、妊娠はするものの、流産・死産を繰り返す「不育症」の治療を指し、出産を望む夫婦にとって大きな悩みでもある。治療のための染色体検査や子宮形態検査などには、医療保険が適用されないものもあるため、医療保険適用外の診療分を助成し、経済的な負担を補い、少子化への対策とする。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 1,200千円 3 事業内容 医療機関において行われる医療保険適用外の「不育症」治療及びこれらに付随する検査に要する費用を助成する。 【助成要件】 (1) 助成金額 1年度あたり30万円を上限とする。 (2) 助成対象者 ① 戸籍上の夫婦であること。 ② 市税等の滞納がないこと。 ③ 夫婦の年間所得の合算額が730万円未満であること。 4 財源内訳 市（一般財源） 1,200千円
予算額	1,200千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 こども課)

事業名	アレルギー除去食担当調理員助成事業 〔予算計上科目：3款2項3目中 経営安定助成費〕								
事業の目的	近年、アレルギー疾患のある児童が増えてきており、保育園の給食調理は、児童全体の調理の他に、細心の注意が必要なアレルギー除去食の調理をする必要があり、国の配置基準による調理員数では対応が難しくなっている。 保育園の児童に安全安心の給食を提供するため、法人立保育園13園において、アレルギー除去食担当調理員を加配した場合に人件費を助成する。								
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 6,175千円 3 事業内容 国の調理員の配置基準を超えて、アレルギー除去食担当の調理員を配置した場合において、パート調理員（4時間勤務）人件費の2分の1を助成する。 4 財源内訳 市（一般財源） 6,175千円 ※ 参考：国の調理員配置基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th>在園児童数</th><th>調理員配置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>151人以上</td><td>3人</td></tr> <tr> <td>41人～150人</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>40人以下</td><td>1人</td></tr> </tbody> </table>	在園児童数	調理員配置数	151人以上	3人	41人～150人	2人	40人以下	1人
在園児童数	調理員配置数								
151人以上	3人								
41人～150人	2人								
40人以下	1人								
予算額	6,175千円								

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 税料金課)

事業名	滞納整理推進事業（南加賀地区地方税滞納整理機構への参加） 〔予算計上科目：2款2項1目中 税務総務事務費 一般経費〕
事業の目的	石川県、小松市、能美市、川北町及び加賀市により設置する「南加賀地区地方税滞納整理機構」に職員1名を派遣することで、本市における滞納整理を推進するとともに、派遣職員の徴収に関する専門知識の向上を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成27年度 ※ 平成28年度以降は3年間の実績を踏まえ、継続を検討する予定 2 事業費（参加市町の負担金） 500千円 3 事業内容 (1) 「南加賀地区地方税滞納整理機構」の概要 県と市町の連携、共同による県税及び市町村税の収納率の向上、滞納額の縮減及び税務職員の徴収技術の向上を目的として設置するもの。 徴収対象は、個人市県民税に滞納がある場合に限られるものの、その他の市税（固定資産税・都市計画税、軽自動車税、法人市民税、国民健康保険税）についても取り扱う。 (2) 体制 県職員2名及び参加市町職員4名の合計6名で特別機動整理班を構成し、班長1名・班員5名の班体制で、財産調査から差押・滞納処分の執行停止までを行う。 4 財源内訳 市（一般財源） 500千円 【参考】 「石川県央地区地方税滞納整理機構」について（平成24年度設置） ・参加団体：石川県、かほく市、白山市及び野々市市 ・機構引渡対象額：89,707千円 （市県民税及び他の税目を含む。参加1市当たりの平均額） ・徴収実績：42,324千円 （引渡予告による成果も含む。平成24月12月末現在）
予算額	500千円

(市民部 健康課) 国民健康保険特別会計

-29-

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 長寿課) 介護保険特別会計

事業名	介護予防・日常生活支援総合モデル事業 〔予算計上科目：4款1項1目中 二次予防事業費〕	
事業の目的	介護保険法に定める「介護予防・日常生活支援総合事業」は、第6期介護保険事業計画の初年度となる平成27年度からの導入を予定している。 今年度は、モデル事業として既存の介護予防事業の課題を整理するとともに、「介護予防・日常生活支援総合事業」において必要な介護予防、生活支援サービスの提供メニューやその展開方法を明らかにし、要支援者・二次予防事業対象者（要介護状態となるおそれのある高齢者）に対し、住みなれた地域で支えあいながら自立した暮らしを継続できる社会を実現するためのサービス提供体制の構築を目指す。	
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成26年度 2 平成25年度事業費 2,845千円 3 事業内容 (1) 介護予防・日常生活支援総合事業実施検討会の設置（4回/年程度を予定）。 検討内容は次のとおり。 ① 既存の介護予防事業の課題整理と方向性の決定 ② 介護予防サービス事業（通所型・訪問型介護予防サービス） ③ 生活支援サービス事業 ④ 自立支援型介護予防ケアマネジメント事業 ⑤ その他の事業 (2) 上記(1)②④試行事業の実施 ① 通所型介護予防サービス試行事業（2箇所） 試行例：運動機器等を使用しない運動機能向上メニューの創設等 ② 自立支援型介護予防マネジメントケアプラン試行 試行例：予防サービスと生活支援サービスの一体的提供等 (3) 先進地視察の実施、研修会の開催 他 4 財源内訳 国（介護予防事業費交付金 1/4） 711千円 県（介護予防事業費交付金 1/8） 356千円 社会保険診療報酬支払基金交付金（29/100） 825千円 市 953千円	
予算額	2,845千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(市民部 長寿課) 介護保険特別会計

事業名	認知症予防事業（認知症早期発見対応体制構築） 〔予算計上科目：4款1項1目中 一次予防事業費〕		
事業の目的	認知症の早期発見、早期診断、早期対応を目的とし、認知機能低下のおそれのある高齢者を対象とし、かかりつけ医における「物忘れ相談」の実施や医療が必要な人には専門病院における「物忘れ外来」の実施などを通じて、それぞれの対象者に対する相談支援体制を構築する。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 4,500千円 3 事業内容 (1) 「物忘れ相談・外来」の実施（平成26年度本格実施に向けたモデル事業） ① 要介護認定者を除く高齢者を対象に生活機能・認知機能低下等の状況把握を行い、その結果を基に、認知機能低下のおそれのある人について、かかりつけ医における「物忘れ相談」を実施する。（1,200人程度を想定） ② 「物忘れ相談」の結果に基づき、 ア) 要医療者については、「物忘れ外来」等専門医の紹介 イ) 要医療者以外については、介護予防教室（元気はつらつ塾等）、講座（おい支度講座等）、地域おたっしゃサークル等の紹介 (2) 検討会の開催（3回/年予定） 「物忘れ相談・外来」の課題の整理、相談支援体制の構築等 (3) 研修会、講演会の開催 研修会（かかりつけ医対象）、講演会（市民を対象） 4 財源内訳 国（介護予防事業費交付金 1/4）1,125千円 県（介護予防事業費交付金 1/8）562千円 社会保険診療報酬支払基金交付金（29/100）1,305千円 市1,508千円		
予算額	4,500千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)

事業名	観光フィールド大学開催事業 〔予算計上科目：7款2項2目中 観光振興推進事業費〕
事業の目的	クール加賀 300 万人構想に掲げる目標達成のため、加賀市の観光資源を活用し市内全域をフィールドとした大学の集中講義等を誘致し、日頃、大学のキャンパスでは得ることの出来ない多彩な体験ができる「観光フィールド大学・加賀市まるごとキャンパス」を実施し、加賀市の観光の質を高めるとともに、若い世代の観光誘客を促進する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 2,000千円 3 事業内容 ① 開講時期 平成25年8～9月、平成26年2～3月を基本として希望大学と調整 ② 開講日程 1 カリキュラム3泊4日程度 ③ 実施場所 加賀市内 ④ 宿泊場所 加賀市内の温泉旅館、ホテル、セミナーハウス、古民家、町屋 など ⑤ 想定人数 5人～20人程度の受講 ⑥ 対象者 大学生 ⑦ カリキュラム 加賀市が用意するカリキュラムの中から選択 4 財源内訳 市（一般財源） 2,000千円
予算額	2,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)

事業名	加賀温泉郷観光誘客宣伝事業 (予算計上科目: 7款2項2目中 コンベンション誘致推進助成費 // 観光振興推進事業費 // 観光宣伝事業費)
事業の目的	
	クール加賀300万人構想に掲げる目標達成のため、平成27年3月の北陸新幹線金沢暫定開業を見据え、加賀市観光交流機構と連携し、加賀温泉郷が一体となった地域の魅力づくりと情報発信による観光プロモーションを強化し、観光誘客の推進を図る。
事業の概要	
1 事業年度	平成25年度
2 総事業費	89,800千円
3 事業内容	(1) コンベンション誘致推進事業 14,000千円 加賀市内での宿泊を伴う、大会・総会・会議・学会・研修会・講習会・セミナー・シンポジウム・見本市・イベント(文化・スポーツ)・教育旅行(合宿・修学旅行)等に対して助成を行うことで、宿泊誘客を促進する。 (2) 加賀温泉郷連携誘客促進事業 18,000千円 加賀温泉郷全体が連携した事業展開により誘客促進を図る。 ① 加賀温泉郷旅マップの増刷 ② 新たなロゴ・キャッチフレーズの活用 ③ 加賀温泉郷おもてなし促進事業(レディーカガ等) ④ 新市場(MICE、教育旅行、インバウンド等)開拓と情報発信の強化 ⑤ ニューツーリズム等による滞在型観光推進事業 ⑥ 加賀温泉郷パスポート企画販売 ⑦ テレビ放映PR映像の製作 ⑧ 北陸新幹線金沢暫定開業プレイベントの開催 (3) 加賀温泉郷観光誘客促進事業(緊急雇用創出事業) 2,300千円 緊急雇用創出事業(重点分野雇用創出事業)を活用し、(社)加賀市観光交流機構との連携により、有効な観光素材の情報を収集しながら、効果的な観光商品の企画及び観光情報の発信を行う。

(4) 日本百街道参画事業（構成市町の負担金） 700千円
 全国街道交流会議における、日本橋・日本百街道展の開催等に参画し、加賀温泉郷のPRを図る。

(5) 総合観光宣伝振興事業 29,000千円
 全市的な視点に立った観光情報の発信や宣伝事業を展開し、一元化した総合的な情報発信による効果的な宣伝を行うことで、観光誘客の促進を図る。
 ① テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・web等による宣伝、宣伝資料作成、出向宣伝、ホームページを活用した宣伝等
 ② 市内3温泉地における観光宣伝事業

(6) 都市圏観光プロモーション強化事業 25,000千円
 地域の個性を活かしながら、加賀温泉郷として一体となった観光情報を、首都圏を中心とした都市圏に向け発信する。
 ① インターネット旅行者と連携した加賀温泉郷特集の実施
 ② 全国規模の情報誌での加賀温泉郷特集ページの掲載
 ③ JRとのタイアップによる情報発信の強化
 ④ 加賀温泉郷統一の観光情報誌の発行（季刊観光情報紙、旅館部屋置き情報誌）
 ⑤ ターゲットエリアを絞った集中的な観光情報の発信

(7) 都市圏出向宣伝事業 800千円
 首都圏を中心とした都市圏でのイベントや各都市での県人会等でのPRを行うとともに、旅行者やメディアへの出向宣伝を行うことで、加賀温泉郷の知名度を高め、新たな需要を開拓する。

4 財源内訳

県（緊急雇用創出事業補助金 10/10）	2,300千円
市（一般財源）	87,500千円

予 算 額	89,800千円
-------	----------

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)

事業名	北陸新幹線開業PR推進事業 〔予算計上科目：7款2項2目中 観光振興推進事業費〕
事業の目的	石川県が定める「新幹線開業PR戦略実行プラン」に基づき、石川県観光連盟を主体として、県内の自治体と民間企業が一体となり、平成27年3月の北陸新幹線金沢暫定開業に向け、今後5年間、集中的にPR事業に取り組み、観光誘客を推進する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成29年度 2 総事業費 290,000千円 3 事業内容 石川県観光連盟が設立する「新幹線開業PR推進ファンド（総額 100億円）」に対し、原資の一部として加賀市からは2.9億円の貸付（5年間）を行い、ファンドの運用利息（1億円/年）を活用し、官民協働で、次に掲げる観光誘客事業を展開する。 (1) 事業主体 石川県観光連盟 (2) 事業名 新幹線開業PR戦略実行プラン (3) 事業概要 ① 首都圏での話題性・インパクトのあるキャンペーンの展開 ② エリアを絞り込んだ情報発信・旬の場所での情報発信 ③ JRとの大型キャンペーンの実施 ④ その他首都圏等における情報発信の取り組み ⑤ 著名人の発信力を活用したPR ⑥ 石川の魅力を体感できる開業イベントの開催 ⑦ 石川を訪れる回数に応じた魅力情報の提供 ⑧ 地域の情報センター機能の充実 ⑨ 県内における広域観光の推進 ⑩ ロゴマークの作成 4 平成25年度事業 (1) 事業費 290,000千円 (2) 事業内容 「新幹線開業PR推進ファンド」に対する貸付 (3) 財源内訳 市（観光振興推進事業債） 290,000千円 石川県自治振興資金を活用 借入利率：年利0.4%予定
予算額	290,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)
(建設部 都市計画課)

事業名	越前加賀宗教文化街道推進事業 (予算計上科目：7款2項2目中 観光振興推進事業費 8款5項2目中 越前加賀宗教文化街道環境整備費)
事業の目的	平成27年3月の北陸新幹線金沢暫定開業を見据え、石川県と福井県の県境にある5市町が広域連携し、宗教文化をテーマとした地域資源の魅力向上と情報発信強化による観光誘客の促進を図る。 また、加賀市が有する宗教文化資源のうち、吉崎町、塩屋町ゆかりの歴史的偉人である蓮如の足跡、戸田城聖生誕地など県境エリアに位置する資源を活用し、鹿島の森や塩屋海岸などの景勝地とともに散策ルートを整備する。
事業の概要	1 越前加賀宗教文化街道推進事業 事業主体 越前加賀宗教文化街道～祈りの道～推進協議会 (協議会構成市町：加賀市・勝山市・あわら市・坂井市・永平寺町) (1) 事業年度 平成25年度 (2) 事業費 400千円 (協議会における全体事業費2,000千円(構成5市町が各400千円を負担)) (3) 事業内容 宗教文化街道のルート構築 プロモーションツールの作成(紹介映像等) (4) 財源内訳 市(一般財源) 400千円 2 越前加賀宗教文化街道環境整備事業 (1) 事業年度 平成25年度～平成26年度 (2) 事業内容 吉崎・塩屋周遊ルート環境施設整備(周遊ルート、眺望広場等) (3) 平成25年度事業 ① 事業費 2,625千円 ② 事業内容 基本・実施設計 吉崎・塩屋周遊ルート調査・計画 周遊環境施設(案内板、誘導標、路面舗装等)実施設計 ③ 財源内訳 国(社会資本整備総合交付金 5.5/10) 1,375千円 市(街路整備事業債) 500千円 市(一般財源) 750千円 (4) 完成年度 平成27年3月
予算額	3,025千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)

(〃 商工振興課)

事業名	加賀温泉郷観光誘客促進施設整備助成事業 (予算計上科目：7款2項2目中 観光誘客促進施設整備助成費 7款1項2目中 商業地域活性化費)
事業の目的	クール加賀 300 万人構想に掲げる目標達成のため、平成 27 年 3 月の北陸新幹線金沢暫定開業を見据え、街歩きが楽しめる魅力ある温泉地へと再生するとともに、宿泊施設内における癒し空間の創出と利便性向上による充実化を図り、観光客の満足度を高めることで、加賀温泉郷の魅力を向上し、観光誘客の推進を図る。 併せて、観光地商店街における店舗立地の促進及び既存店舗の魅力を高めることで、賑わいと交流人口の拡大及び地域商業の活性化を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成26年度 2 総事業費 80,000千円 3 事業内容 (1) 宿泊施設における魅力ある滞在空間づくり支援事業 加賀片山津温泉、加賀山代温泉、加賀山中温泉の宿泊施設における新設及び改修整備等を行う事業者に対して、費用の一部を助成する。 ① 補助対象事業 それぞれの温泉地の個性を活かし、次に掲げるイメージづくりを図るための施設整備事業 ・ 湖(うみ)の温泉 加賀片山津温泉 ・ 里(さと)の温泉 加賀山代温泉 ・ 山(やま)の温泉 加賀山中温泉 ② 補助対象経費 ・ 加賀温泉郷のエリアカラーである赤瓦色や各温泉地の特色を活かした外観とするための外装改修及び新築工事 ・ 観光客の満足度を高めるための癒し空間の創出と利便性を高めるための内装改修及び新築工事

- ③ 市補助金の額 石川県の補助制度と協調し、1件あたり5,000千円を上限とし、補助対象経費の3分の1以内で助成する。
(県 1/3、市 1/3、事業者 1/3)

(2) 商店街まち歩きが楽しい店づくり支援事業

観光誘客のため、指定する商店街において商業店舗の新規出店又は、現に営業している商業店舗の内外装工事を行う者に対し、事業費の一部を助成する。

- ① 事業対象区域 商業集積がなされており、観光交流拠点からのまち歩きが楽しめる次の商店街区域
 ・加賀片山津温泉 ・加賀山代温泉 ・加賀山中温泉
 ・加賀大聖寺 ・加賀動橋

- ② 補助対象経費 店舗の内外装工事費、備品費、広告宣伝費

- ③ 補助金の額 1件あたり1,000千円を上限とし、補助対象経費の2分の1以内で助成する。

4 平成25年度事業

(1) 事業費

40,000千円

(2) 事業内容

- ① 宿泊施設における魅力ある滞在空間づくり支援事業
概ね6件程度の助成を行う。
- ② 商店街まち歩きが楽しい店づくり支援事業
概ね10件程度の助成を行う。

(3) 財源内訳

市(一般財源) 40,000千円

予算額

40,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 観光交流課)

(建設部 建築課)

事業名	加賀温泉郷サイン整備事業 〔予算計上科目：7款2項3目中 観光施設整備費 8款5項7目中 景観形成推進費〕
事業の目的	クール加賀 300 万人構想に掲げる目標達成のため、平成27年3月の北陸新幹線金沢暫定開業を見据え、市内主要箇所に、新たなシンボルサイン及び誘導サイン等を設置し、加賀温泉郷のイメージや回遊性を高め、観光誘客の促進を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～ 2 事業内容 平成24年度に策定する「加賀温泉郷公共サインガイドライン」及び「加賀温泉郷サイン設置計画」に基づき、わかりやすく美観にも優れた“加賀市らしい”統一感をもったサインを、市内3温泉地や加賀温泉駅前、加賀インター、片山津インター、国道8号をはじめとする主要玄関口（ゲートウェイ）等に設置する。 3 平成25年度事業 (1) 事業費 20,000千円 (2) 事業内容 シンボルサイン及び誘導サイン等の設置 (3) 財源内訳 ① 加賀温泉郷サイン設置事業 市（過疎対策事業債） 3,000千円 市（一般財源） 7,000千円 ② 加賀温泉郷ゲートウェイ整備事業 国（社会資本整備総合交付金 5/10） 4,905千円 市（景観整備事業債） 4,500千円 市（一般財源） 595千円
予算額	20,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 商工振興課)

事業名	平成の加賀魯山人プロジェクト事業 〔予算計上科目：7款1項2目中 商工業育成費〕
事業の目的	「加賀東谷伝統的建造物群保存地区」の豊かな自然や里山風景の下、「平成の魯山人」といわれるような芸術家を発掘、育成、誘致することにより、芸術の里として地域の再生と新たな魅力の創造を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～ 2 事業内容 (1) 古民家改修事業 必要な古民家の改修を行い、居住可能な物件を整備する。 (2) 古民家サブリース事業 居住可能な古民家を、貸し出す仕組みづくりを行い、古民家の活用を図る。 (3) アーティスト・イン・レジデンス 芸術家を招聘し、知名度向上を図るとともに、芸術家の定住を推進する。 (4) ワーク・イン・レジデンス 仕事を持った職人等の誘致を推進し、合わせて交流人口の増大を図る。 (5) あいおす祭（赤瓦芸術祭） 地域固有の文化とともに、芸術の里として美術展示、音楽会、食談会などを開催し、地域の魅力を高める。 (6) 情報発信事業 インターネットなどを活用し、加賀東谷の魅力を発信するとともに、定住化のための住宅情報などの提供を行う。 3 平成25年度事業 (1) 事業費 1,500千円 (2) 事業内容 ① 古民家サブリースに係る物件調査 活用可能な古民家を調査し、その改修に必要な経費などの研究を行うとともに、その結果を踏まえ、サブリースの仕組みの検討を行う。 ② 古民家を舞台にした食と音楽のコラボレーションイベント アーティストおよびワーク・イン・レジデンスの実施に向け、機運を醸成するとともに、知名度の向上を図る。 ③ あいおす祭（赤瓦芸術祭） 地域で実施されている「あいおす祭（地域文化）」をベースに、芸術の里創成のため、美術や音楽などの要素を加味し実施する。 ④ ホームページ制作 イベント情報などを通じ、加賀東谷の魅力を発信する。 (3) 財源内訳 市（一般財源） 1,500千円
予算額	1,500千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 商工振興課)

事業名	食のブランド化事業 〔予算計上科目：7款1項2目中 商工業育成費〕
事業の目的	加賀の豊かな自然と伝統文化を背景として育まれた、片野鴨池の坂網鴨や橋立蟹、地域の農産物などの優れた食材・食文化、更には九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品を活かした新しい「食」を創造・発信・PRすることにより加賀の「食」のブランド化を推進し、加賀市の魅力発信と商工業・観光の振興を図る。
事業の概要	1 食のブランド化事業 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 総事業費 5,000千円 (3) 事業内容 ① ご当地グルメのブランド事業 ア) 事業内容 「加賀のてんぽなドン」や「加賀のかがやき」など各所で取り組んでいるご当地グルメのブランド化について、北陸新幹線金沢暫定開業に照準を合わせ、「食」による話題性の向上と商品化を図る。 イ) 事業費 1,700千円 ② 加賀の晩餐会開催事業 ア) 事業内容 坂網鴨・橋立蟹など、加賀市が誇る食材を活用した「加賀の晩餐会」を首都圏などの都市部で開催し、加賀の魅力を発信する。 イ) 事業費 1,800千円 ③ 坂網鴨のブランド化 ア) 事業内容 坂網鴨の継承・坂網鴨のブランド化のため、坂網に関する情報発信や坂網鴨の食談ツアー（坂網鴨の見学、坂網鴨の食談）を開催する。 イ) 事業費 1,500千円 (4) 財源内訳 市（一般財源） 5,000千円 2 ご当地グルメ推進協議会負担金 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 総事業費 10,000千円（石川県5,000千円、加賀市150千円、他市町2,350千円、その他2,500千円） (3) 事業内容 北陸新幹線金沢暫定開業を見据え、昨年度まで石川県が主催していたご当地グルメイベント（いしかわ食のてんこもり）を民間主導での組織に移行し、これまで以上にご当地グルメ活動の推進を図る。 (4) 財源内訳 市（一般財源） 150千円
予算額	5,150千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 商工振興課)

事業名	伝統工芸等担い手育成事業 〔 予算計上科目：7款1項2目中 九谷焼振興助成費 〃 伝統工芸等担い手育成費 〕
事業の目的	伝統工芸従事者の作品購入費や販路開拓費、工房借上げ費の一部を支援することで、やる気のある担い手育成を図るとともに、自立を支援する。
事業の概要	1 九谷焼技能後継者奨励事業 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 事業費 300千円 (3) 事業内容 市内の一事業所で1年以上勤務し専ら九谷焼の制作に従事している者で、引き続き九谷焼制作に携わると当該事業所事業主が判断した者に交付する。 (4) 財源内訳 九谷焼技能後継者育成基金 300千円 (5) 報償金額 一人につき50千円 2 伝統工芸担い手作品購入促進事業 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 事業費 3,000千円 (3) 事業内容 伝統工芸の若手後継者が制作した作品を購入する市内の飲食店や宿泊施設等に対して、購入費の一部を助成する。 (4) 財源内訳 市(一般財源) 1,000千円 産業人材育成基金 2,000千円 (5) 補助率 補助対象経費の1/2以内(500千円を限度額とする。) 3 伝統工芸等担い手販路開拓支援事業 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 事業費 600千円 (3) 事業内容 伝統工芸等若手従事者で構成されたグループが県外で開催する販売会、展示会にかかる経費の一部を助成する。 (4) 財源内訳 市(一般財源) 300千円 産業人材育成基金 300千円 (5) 補助率 補助対象経費の1/2以内(300千円を限度額とする。) 4 伝統工芸等担い手工房借上支援事業 (1) 事業年度 平成25年度 (2) 事業費 360千円 (3) 事業内容 伝統工芸従事者が市内の伝統的建造物群保存地区などの町屋や古民家などを活用して工房を開いた際の家賃の一部を助成する。 (4) 財源内訳 市(一般財源) 180千円 産業人材育成基金 180千円 (5) 補助率 家賃の1/2以内(月額30千円を限度とする。) (6) 補助期間 3年以内
予算額	4,260千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 農林水産課)

事業名	農業生産総合対策事業 〔予算計上科目：6款1項3目中 農業生産総合対策費〕		
事業の目的	転作作物及び園芸作物に対する機械・施設整備に対する支援を行うことにより、市内の農産物の生産振興を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 11,305千円（事業主体における総事業費 28,748千円） 3 事業内容 (1) 産地競争力強化助成事業（6,404千円） 消費者ニーズの対応及び特色ある栽培方法の確立のため、市内の主要園芸作物であるブロッコリーを対象とした施肥機、防除機の導入に助成する。また、県のぶどうの戦略品種であるルビーロマンの作付拡大のための単棟ハウスの導入に助成する。 (2) たくましい担い手経営育成助成事業（4,680千円） 担い手農家の規模拡大、及び水稻・転作の複合経営の推進を図るため、大豆コンバインの導入に助成する。 (3) 水田利用促進条件整備助成事業（221千円） 不作付地の解消及び転作の奨励作物であるカボチャの作付拡大を図るため、つる切り機の導入に助成する。 4 事業主体 JA加賀、豊町果樹生産組合 5 財源内訳 県（総事業費の1/3） 9,582千円 市（一般財源 総事業費の6%） 1,723千円		
予算額	11,305千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 農林水産課)

事業名	橋立漁港周辺整備事業（基本整備構想・計画策定業務） 〔予算計上科目：6款3項1目中 漁港周辺整備事業費〕
事業の目的	加賀橋立地区の魅力を活かした、港町風情の漂う町並みの形成に向けて、漁港施設整備を行うことにより、橋立漁港のにぎわいを創出すると共に水産業の振興を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～ 2 事業内容 平成25年度及び平成26年度に漁港施設整備の基本整備構想・計画策定業務を行い、平成27年度に実施設計を行う予定。平成28年度より整備事業実施予定。 また、関連事業として平成24年度3月補正予算において、漁港周辺整備事業を建設部（建築課）予算として計上している。 3 平成25年度事業 (1) 事業費 2,000千円 (2) 事業内容 橋立漁港及びその周辺の現地調査、費用対効果の検証等に基づく計画案の策定等 (3) 財源内訳 市（一般財源） 2,000千円
予算額	2,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 環境課)

事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業 〔予算計上科目：4款2項2目中 環境美化推進費〕	
事業の目的	「加賀市ポイ捨て等のない美しいまちづくりの推進に関する条例」におけるポイ捨て禁止規定の施行（平成25年4月）に合わせ、市、市民、事業者等が協働して「空き缶やたばこの吸い殻などのポイ捨て」、「飼い犬のふんの放置」、「人混みでの喫煙や歩きタバコ」の防止に取り組み、ポイ捨て等のない快適な生活環境の保全と美しいまちづくりを推進する。	
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 3,000千円 3 事業内容 ポイ捨て防止を啓発するため、市広報・ホームページへの掲載、看板の設置、チラシ・グッズの配布等のキャンペーンなどにより、市民への周知啓発を徹底し美しいまちづくりを推進する。 ① 案内看板の設置 ② 啓発用チラシの制作 ③ 啓発用ジャンパー、グッズ等の購入 ④ 啓発指導パトロールの実施 4 財源内訳 市（一般財源） 3,000千円	
予算額	3,000千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 環境課)

事業名	ラムサール条約登録関連事業 〔予算計上科目：4款2項3目中 湿地保全対策費〕	
事業の目的	柴山潟および周辺水田の環境保全、水鳥の餌場となる湿地の保全活動を推進し、柴山潟と干拓水田のラムサール条約登録を目指す。また、片野鴨池のラムサール条約登録20周年を迎えることから、シンポジウム等の記念事業を行う。	
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 7,100千円 3 事業内容 (1) ラムサール条約登録範囲拡大事業（4,600千円） ① 柴山潟湿地における絶滅危惧植物の有無の調査 ② 柴山潟、鴨池、坂網獵、ふゆみずたんぼ等のPR用DVDの制作 (2) 片野鴨池ラムサール条約登録20周年記念事業（2,500千円） ① 水鳥の餌場確保等の啓発に向けた記念シンポジウムの開催 ② トモエガモの観察が可能な大口径望遠鏡等の導入 ③ 柴山潟及び周辺のラムサール条約追加登録をアピールする機会として、日本湿地学会を誘致 ※ 片野鴨池のラムサール条約湿地登録 平成5年6月10日 4 財源内訳 市町村振興協会交付金 2,500千円 市（一般財源） 4,600千円	
予算額	7,100千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 環境課)

事業名	片野鴨池坂網猟後継者育成事業 〔予算計上科目：4款2項3目中 湿地保全対策費〕
事業の目的	江戸時代より伝承する坂網猟を後世に伝承するため、猟師の後継者を育成し、坂網猟の振興を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 3,367千円 3 事業内容 (1) 坂網猟師の後継者育成(367千円) 後継者の発掘、育成体制の確立(後継者及び指導者への支援) (2) 坂網猟の拠点施設(番小屋)整備(3,000千円) 後継者の育成、技術の伝承の場として、また、観光客に対応する機能も兼ね備えた施設として番小屋等を改修するための実施設計を行う。 4 財源内訳 市(一般財源) 3,367千円
予算額	3,367千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(地域振興部 まちづくり課)

事業名	まちづくり運動推進事業 予算計上科目：2款1項12目中 まちづくり運動助成費 // 地区会館整備費(単独) // 学習等供用施設整備費																																				
事業の目的	市民の自主的なまちづくり活動を支援するための活動費補助について、平成25年度からは、各地区の活動をより活性化するために、これまでの世帯数等による定額補助の一部について、事業補助(地域課題に対応する事業への補助)へ移行する。 また、活動拠点施設である地区会館の大規模改修を計画的に実施する。																																				
事業の概要	1 事業内容 (1) まちづくり推進協議会への活動費補助 ① まちづくり運動推進助成事業(定額補助) まちづくり事務局費(職員費、電話基本料等) まちづくり活動費(一般活動費、広報発行費) ② 地域課題への対応事業(事業補助) 世帯数による定額補助である一般活動費の一部を、事業補助へ移行する事により、実態に合わせた補助を行い、まちづくり活動をより活性化する。 (2) まちづくり活動の拠点施設である、地区会館の計画的な大規模改修 ① 三谷地区会館改修事業 バリアフリー化、内装レイアウト変更、屋根、外壁、空調設備 ② 片山津地区会館改修事業(H25~H26の2か年事業) 平成25年度は設計のみ、工事は平成26年度 バリアフリー化、屋根、外壁、空調設備 2 平成25年度 事業費及び財源内訳																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名称</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="3">財源内訳</th></tr> <tr> <th>国</th><th>市債</th><th>一般財源</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちづくり運動推進助成事業</td><td>75,581</td><td></td><td>12,000</td><td>63,581</td></tr> <tr> <td>地域課題への対応事業</td><td>4,594</td><td></td><td></td><td>4,594</td></tr> <tr> <td>三谷地区会館改修事業</td><td>29,200</td><td></td><td>27,700</td><td>1,500</td></tr> <tr> <td>片山津地区会館改修事業(設計)</td><td>4,534</td><td>1,409</td><td></td><td>3,125</td></tr> <tr> <td>計</td><td>113,909</td><td>1,409</td><td>39,700</td><td>72,800</td></tr> </tbody> </table>			事業名称	事業費	財源内訳			国	市債	一般財源	まちづくり運動推進助成事業	75,581		12,000	63,581	地域課題への対応事業	4,594			4,594	三谷地区会館改修事業	29,200		27,700	1,500	片山津地区会館改修事業(設計)	4,534	1,409		3,125	計	113,909	1,409	39,700	72,800
事業名称	事業費	財源内訳																																			
		国	市債	一般財源																																	
まちづくり運動推進助成事業	75,581		12,000	63,581																																	
地域課題への対応事業	4,594			4,594																																	
三谷地区会館改修事業	29,200		27,700	1,500																																	
片山津地区会館改修事業(設計)	4,534	1,409		3,125																																	
計	113,909	1,409	39,700	72,800																																	
予算額	113,909千円																																				

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 土木課)

事業名	生活道路・側溝整備事業 予算計上科目：8款1項1目中 生活道路整備助成費 8款2項3目中 側溝整備費（補助・単独）
事業の目的	生活道路や市道の整備を行うことにより、生活環境の改善と市民生活の利便性の向上を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 88,700千円 3 事業内容 (1) 生活道路整備補助金（単独事業） 8,700千円 8町 区道改良、墓参道改良、防護柵設置 (2) 側溝整備工事（補助・単独事業） ① 米軍再編交付金事業 40,000千円 10町 L=1,270m ② 道整備交付金事業 30,000千円 20町 L=980m ③ 単独事業 10,000千円 6町 L=330m 4 財源内訳 国（米軍再編交付金） 34,500千円 国（道整備交付金 1/2） 15,000千円 市（道路整備事業債） 13,500千円 市（一般財源） 25,700千円 5 完成予定 平成26年3月
予算額	88,700千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 土木課)

事業名	主要道路整備事業（継続事業） 市道A第172号線道路改良事業（大聖寺上木町～三木町） 〔予算計上科目：8款2項3目中 主要道路新設改良費（補助）〕 市道B第14号線南加賀道路整備事業（河南町～山代温泉1区） 〔予算計上科目：8款2項3目中 南加賀道路整備事業費〕
事業の目的	主要な市道を整備することにより、地域や観光の利便性の向上を図り、地域の活性化を支援する。
事業の概要	1 市道A第172号線道路改良事業（大聖寺上木町～三木町） (1) 事業年度 平成21年度～平成26年度 (2) 総事業費 873,500千円 (3) 事業内容 全体延長 L=440m 橋梁架設 N=1基 (4) 平成25年度事業 ① 事業費 190,550千円 ② 事業内容 橋梁下部工事、交差点改良工事、設計委託（三ツ橋撤去） ③ 財源内訳 国（道整備交付金1/2） 92,500千円 市（合併特例債） 93,100千円 市（一般財源） 4,950千円 (5) 完成予定 平成27年3月 2 市道B第14号線南加賀道路整備事業（河南町～山代温泉1区） (1) 事業年度 平成18年度～平成26年度 (2) 総事業費 1,745,000千円 (3) 事業内容 全体延長 L=610m 橋梁架設 N=1基 (4) 平成25年度事業 ① 事業費 84,500千円 ② 事業内容 跨道橋上部工事、道路改良工事 ③ 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 5.5/10） 44,000千円 市（合併特例債） 38,400千円 市（一般財源） 2,100千円 (5) 完成予定 平成27年3月
予算額	275,050千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 土木課)

事業名	市道C第463号線橋梁修繕事業 〔予算計上科目：8款2項4目中 橋梁長寿命化対策費〕		
事業の目的	本橋梁の架かる市道C第463号線は、市の中央部に位置する幹線道路であり、災害時の緊急輸送道路にも指定されている。今回、橋梁長寿命化修繕計画の報告書を基に、耐震補強及び修繕をすることにより、地震時における通行の安全確保と今後の橋梁にかかる経費を抑え、橋梁の延命化を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成27年度 2 総事業費 118,000千円 3 事業内容 新梶井橋耐震補強工事 4 平成25年度事業 (1) 事業費 13,000千円 (2) 事業内容 耐震補強工事実施設計業務 (3) 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 5.5/10） 7,150千円 市（道路整備事業債） 5,200千円 市（一般財源） 650千円 5 完成予定 平成28年3月		
予算額	13,000千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 都市計画課)

事業名	国道8号道の駅調査事業 (予算計上科目：8款5項1目中 国道8号沿道調査費)
事業の目的	国道8号加賀拡幅に合わせた沿道の活性化を図るため、地域振興の拠点施設となる「道の駅」整備のための調査及び基本計画の策定を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 3,000千円 3 事業内容 調査、基本計画策定 (整備位置及び規模の検討、施設の内容および配置の検討、 管理運営形態の検討) 4 財源内訳 市(一般財源) 3,000千円 5 完成予定 平成26年3月
予算額	3,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 都市計画課)

事業名	加美谷線整備事業（山中温泉長谷田町地内） 〔予算計上科目：8款5項2目中 加美谷線整備費〕	
事業の目的	都市計画道路加美谷線は、山中温泉の国道364号長谷田北交差点から宮の杜や加美谷台などの住宅地を経て、再び国道364号に接続する約2.4kmの幹線道路である。このうち未改良である長谷田北交差点から日の出団地区間は、急勾配なうえ幅員が狭小なため、特に通勤通学時の安全性の確保が課題となっている。 このため、地域間交流を担う幹線道路として、また、地区の安全性確保のため狭小区間の改良を行う。	
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成26年度 2 総事業費 373,000千円 3 事業内容 道路改良工事 L=400m 4 平成25年度事業 (1) 事業費 102,900千円 (2) 事業内容 建物補償、用地取得 (3) 財源内訳 国（道整備交付金5/10） 49,000千円 市（過疎対策事業債） 53,900千円 5 完成予定 平成27年3月	
予算額	102,900千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 建築課)

事業名	赤瓦の景観推進事業 〔予算計上科目：8款5項7目中 景観形成推進費〕
事業の目的	加賀市には橋立、東谷地区をはじめ広い区域に赤瓦屋根が広がっている。これら加賀市固有の景観を全国発信するため「かがルージュ」と名付け、加賀温泉郷の「エリアカラー」として定着するように普及啓発の促進を図る。 また、赤瓦景観の魅力を広く市民に発信するためにシンポジウムや絵画コンクール等を開催し、赤瓦景観に理解と愛着を深めていただくとともに、ふるさとの色彩文化を次世代に伝えていく。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 995千円 3 事業内容 (1) 赤瓦の里町並みゼミ加賀市大会の開催（9月予定） （市内景観調査報告、講演会、パネルディスカッション等） (2) 赤瓦の町並み絵画展の開催（5月～7月募集・9月展示及び表彰） （赤瓦の町並み風景を描いた絵画を募集・展示） 4 財源内訳 市（一般財源） 995千円
予算額	995千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(建設部 建築課)

事業名	歴史的建物活用検討事業 〔予算計上科目：8款5項7目中 景観形成推進費〕
事業の目的	「旧よしのや依緑園別荘」や「旧新家邸」など、市内の歴史的価値を有する建物について、そのあり方と活用手法の総合的な調査検討を行い、市民の共有財産、また観光資源として調和のとれた活用の方向性を見極める。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 5,000千円 3 事業内容 (1) 「(仮称) 加賀市歴史的建物活用検討委員会」の設置 (2) 調査検討 ① 総合的な検討資料の整理 ② 活用方針、整備方針の検討 ③ 文化財指定に向けた調査 4 財源内訳 市(一般財源) 5,000千円
予算額	5,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(山中温泉支所 振興課)

事業名	旧よしのや依緑園別荘整備事業（鶴仙溪眺望広場整備） 〔予算計上科目：2款1項15目中 旧よしのや依緑園別荘整備費〕
事業の目的	加賀山中温泉ゆげ街道沿いに、観光客が休憩しながら鶴仙溪を眺める眺望広場を整備し、加賀温泉郷の新たな観光スポットとして誘客促進を図る。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 10,000千円 3 事業内容 鶴仙溪眺望広場建設工事 旧よしのや依緑園別荘向かい側の旅館車庫部分を取り壊し、鶴仙溪を眺望できる広場として整備する。 4 財源内訳 市（過疎対策事業債） 10,000千円
予算額	10,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(消防本部 消防課)

事業名	高機能消防指令センターシステム整備事業 〔予算計上科目：9款1項3目中 通信設備整備費〕
事業の目的	設置後13年を経過した現設備を更新し、119番の受付から消防隊・救急隊を迅速かつ正確に出動させ、災害の早期鎮圧、被害の軽減を実現し市民生活の安定に資する。
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成25年度 2 総事業費 213,966千円 3 事業内容 (1) 実施設計（平成23年度実施済 966千円） (2) 本体設置 4 平成25年度事業 (1) 事業費 213,000千円 (2) 事業内容 ① 設置監理業務 2,957千円 ② 指令システム本体設置 210,000千円 ③ 事務費 43千円 (3) 財源内訳 国（防衛施設周辺消防施設整備事業補助金 2/3） 116,427千円（補助基準額 174,641千円） 市（合併特例債） 91,700千円 市（一般財源） 4,873千円 5 完成予定 平成26年3月
予算額	213,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(消防本部 消防課)

事業名	消防車両等整備事業 予算計上科目：9款1項3目中 消防車両整備費 // 庁舎等施設整備費
事業の目的	人的消防力の集約による災害対応力強化を図るため、片山津温泉地区の分団（片山津第1分団及び片山津第2分団）を統合し、分団統廃合に伴う施設を整備する。 併せて、消防分団の風水害を始めとする各種災害への対応力向上を目的とし、土嚢や災害対応資機材及び団員の緊急搬送を可能とする車両を整備する。 また、老朽化した高規格救急車及び水槽付消防ポンプ車を更新し、災害に備える。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 総事業費 96,230千円 3 事業内容 (1) 消防車両整備事業 ① 事業費 68,300千円 ② 事業内容 ア) 片山津統合分団人員兼資機材搬送車（6人乗り4WDトラック） 4,070千円 イ) 山中分署高規格救急車・高度救命処置用資機材 30,076千円 ロ) 大聖寺分署水槽付消防ポンプ自動車 34,154千円 ③ 財源内訳 市（過疎対策事業債） 30,000千円 市（防災対策事業債） 25,500千円 市（合併特例債） 3,800千円 市（一般財源） 9,000千円 (2) 片山津統合分団車庫整備事業 ① 事業費 27,930千円 ② 事業内容 施設建設費（鉄骨造2階建瓦葺 延床面積約120㎡） 27,930千円 ア) 地質調査、設計及び施行監理 3,065千円 イ) 建築本体工事 24,865千円 ③ 財源内訳 国（米軍再編交付金） 24,300千円 市（一般財源） 3,630千円 4 完成予定 平成26年3月
予算額	96,230千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 教育庶務課)

事業名	教育体制整備計画策定事業 〔予算計上科目：10款1項2目中 教育振興事業費〕
事業の目的	市内中学生の約半数が市外の高等学校等へ進学している状況を勘案し、「地産地学」の視点から、小学校、中学校及び高等学校の連携のあり方、学校の適正規模・適正配置、いじめや体罰の問題などについて審議を行い、「加賀市教育体制整備計画」を策定する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 682千円 3 事業内容 (1) 審議組織 「加賀市教育体制推進会議」 教育委員（5名）が、県内外の有識者から意見・提言を受け、計画を策定 (2) 審議事項 ① 「地産地学」の小学校、中学校及び高等学校の連携 (小学校教育体制、中高一貫教育の検討等) ② 市内中学生の進学ニーズと高校教育機会の整備 ③ 加賀温泉駅周辺文教ゾーン整備との調整 ④ 少子化を背景とした学校の適正規模、適正配置 ⑤ いじめ、体罰への対策 など (3) 審議会開催 年5回 4 財源内訳 市（一般財源） 682千円 5 完成予定 平成26年3月
予算額	682千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 教育庶務課)

事業名	錦城中学校普通教室等冷房化事業 〔予算計上科目：10款3項3目中 校舎等整備費（補助）〕		
事業の目的	近年、地球温暖化による夏期の気温上昇が著しいことから、生徒の体調及び授業に支障がないよう良好な教育環境を提供していくため、教室内の温度が高い錦城中学校において、普通教室等の冷房化事業を実施する。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成26年度 2 総事業費 66,360千円 3 事業内容 普通教室 14室 特別教室 7室 特別支援教室 1室 学習室等 5室 計27室（2,241.6㎡）を冷房化 4 平成25年度事業 (1) 事業費 2,960千円 (2) 事業内容 実施設計 (3) 財源内訳 国（防衛施設周辺防音事業補助金 5.5/10） 1,628千円 市（学校整備事業債） 1,100千円 市（一般財源） 232千円 5 完成予定 平成26年8月		
予算額	2,960千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 教育庶務課)

事業名	学校体育館非構造部材の耐震化対策事業 〔予算計上科目：10款3項3目中 体育館整備費（補助）〕
事業の目的	地震による落下物や転倒物から子どもたちを守り、学校施設の安全確保を期すために、落下した場合に危険性が高いとされる体育館の非構造部材（天井材、外装材、照明器具、バスケットゴール、放送設備等）について、落下防止等の耐震対策を実施する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成30年度 2 事業内容 学校体育館の非構造部材の耐震化対策 (1) 中学校 6校11施設 平成25年度 点検診断 平成26年度 実施設計 平成27年度～平成28年度 工事 (2) 小学校 21校27施設 平成26年度 点検診断 平成27年度 実施設計 平成28年度～平成30年度 工事 3 平成25年度事業 (1) 事業費 4,070千円 (2) 事業内容 中学校体育館の非構造部材の点検診断 6校11施設 14,128㎡ (3) 財源内訳 市（一般財源） 4,070千円 4 完成予定 平成31年3月
予算額	4,070千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 学校指導課)

事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業（小・中学校） （ 予算計上科目：10 款 2 項 2 目中 振興奨励費 10 款 3 項 2 目中 振興奨励費 ）		
事業の目的	児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為などの問題行動の背景には、家庭や友人、地域社会などの環境が複雑に絡み合い、学校だけでは解決困難なケースが見られる。このような場合に、スクールソーシャルワーカーが関係機関等と連携を図りながら、福祉的な働きかけを行い、学校や家庭に対して適切に支援・協力することで、問題の解決にあたる。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 6,144千円 3 事業内容 (1) 配置職員 2名 (2) 業務内容 ① 問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ ② 児童相談所等の関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整 ③ 学校内におけるチーム体制の構築・支援 ④ 保護者、教職員等に対する支援・相談 ⑤ 教職員等への研修活動等 4 財源内訳 県（緊急雇用創出事業費補助金 10/10） 5,854千円 市（一般財源） 290千円		
予算額	6,144千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 生涯学習課)

事業名	「(仮称)山中節のルーツ ―誕生秘話―」DVD制作事業 〔予算計上科目：10款5項2目中 生涯学習推進費〕
事業の目的	加賀山中温泉のサウンドスケープである「山中節」は、明治41年発行の「加賀志徴」にその一部が初めて紹介され、その後、大正14年の石川県江沼郡史では「山中節」として18句と楽譜が採録されるようになる。しかしながら、これまでに「山中節」として整理された資料はないため、この間の山中節がどのようにして発展してきたのか、調査・研究を行い、DVDとしてまとめる。 制作したDVDは、生涯学習の教材として活用するとともに、加賀市指定無形文化財である「山中節」の保存、振興を図る。また、加賀市の観光PRにも活用する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 3,500千円 3 事業内容 (1) DVD20分の制作（山中小唄と同様無声映画として制作） 画像のみ 画像のみ+BGM 画像のみ+BGM+活動弁士の音声 計3枚 (2) 収録内容(案) 山中節が全国に広まるきっかけとなった大正13年の松竹映画「温泉情話山中小唄」をベースに、山中節の誕生に至った経緯、山中節の変遷など山中節にまつわる秘話を映像（DVD）としてまとめる。 4 財源内訳 市（一般財源） 3,500千円 5 完成予定 平成25年10月
予算額	3,500千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 生涯学習課)

事業名	図書館活性化事業 (予算計上科目：10款5項3目中 図書館事業費 // 図書館整備事業費)
事業の目的	図書館における市民サービスの向上を目指し、情報提供機能を強化するため、地域、行政、ビジネス関連の資料の集約・充実を図るとともに、専門職員を配置して、図書館利用者が必要とする情報を効率よく入手できるように援助するレファレンスサービスを提供する。さらに、図書館の利便性を高めるため、軽飲食コーナーや授乳室などを新たに設ける館内の改修を行う。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 6,330千円 3 事業内容 (1) レファレンス機能の強化 ① 専門職員の配置 ② 加賀市の行政情報、地域情報や関係図書、資料の集約化 ③ 庁内各部局と連携・協力した図書館サービスによる、質の高い情報の提供 ④ 市民をはじめ行政委員や市議会議員、市職員が求める情報への対応の強化 ⑤ 中央図書館1階資料コーナーにレファレンスコーナーを設置 (2) 閲覧室等の改修 ① 参考・行政・郷土資料コーナーの充実 1階閲覧室内の書架を増設し、関係図書、資料を集約 ② くつろぎコーナーの新設 中央図書館、山中図書館に軽飲食ができるコーナーを設置 ③ 授乳室の新設 中央図書館に、安心して授乳ができる部屋を設置 4 財源内訳 市(一般財源) 6,330千円 5 完成予定 平成25年7月
予算額	6,330千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 スポーツ課)

事業名	第1回加賀温泉郷マラソン大会開催助成事業 〔予算計上科目：10款6項5目中 体育育成推進費〕
事業の目的	健全者、障がい者が共に参加できるマラソン大会として開催してきた「全国健勝マラソン」を、加賀温泉郷の3温泉を巡るコースにリニューアルすることにより、マラソン交流人口と観光交流人口の一層の拡大を図る。さらに、参加するランナーと市民が一体となった一大イベントとして展開することによって、地域の活性化につなげる。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 17,000千円（実行委員会における総事業費 49,241千円） 3 実施主体 加賀温泉郷マラソン大会実行委員会 4 事業内容 (1) 開催日 平成25年4月21日（日） (2) コース 陸上競技場～加賀片山津温泉～加賀山代温泉～加賀山中温泉(折返し) (3) 種目 5種目(フルマラソン、10 km、5 km、3 km、2.4 km) (4) 部門 27 部門 (5) 目標参加者 5,000人 (6) ゲスト 増田 明美 (7) その他 前日、当日にイベント有り ※4月20日(土)の前日イベント ・増田明美のマラソンコース攻略法 ・新作ランニングウェア発表会 ・歓迎レセプション 5 財源内訳 南加賀広域圏事務組合基金運用交付金 15,125千円 市（一般財源） 1,875千円
予算額	17,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 文化課)

事業名	九谷焼開窯360年記念事業 〔予算計上科目：10款5項2目中 文化振興推進費〕
事業の目的	平成27年は、九谷焼が開窯して360年にあたる。この年には、北陸新幹線が金沢まで暫定開業する運びとなっている。九谷焼は首都圏の観光客を本市へ誘客する有力な観光素材の一つとして期待ができるため、ハード・ソフト双方の記念事業について企画・検討し実施する。(平成24年度は検討準備会を立ち上げ、委員会のメンバーや事業案についての検討を進めている。)
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成27年度 2 事業内容 (1) 平成25年度 事業企画実施委員会立ち上げ (2) 平成26年度 事業企画実施委員会の開催 計画取りまとめ、講師招聘(有田焼関係者) (3) 平成27年度 九谷焼開窯360年記念事業 ソフト事業 シンポジウム、講演会、有田焼コラボ展示会の開催等 ハード事業 記念モニュメント建立等 3 平成25年度事業 (1) 事業費 755千円 (2) 事業内容 ① 事業企画実施委員会立ち上げ 開催3回 ② 佐賀県有田町視察 ③ 有田古窯跡整備状況、古九谷様式の展示実態等の視察 ④ 有田焼作家との交流等 (3) 財源内訳 市(一般財源) 755千円
予算額	755千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 文化課)

事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業 予算計上科目：10款5項2目中 文化振興推進費 10款5項4目中 文化財発掘調査費
事業の目的	現在の加賀市域が旧大聖寺藩領とほぼ一致することから、大聖寺地区だけでなく加賀市全体で大聖寺藩十万石文化の再生を図る。さらにその中核であった大聖寺城跡、藩邸等の整備、復元等を行うことによって、観光振興、地域活性化につなげる。
事業の概要	1 事業年度 平成19年度～ 2 事業内容 (1) 大聖寺城跡整備 (2) 大聖寺藩邸復元整備 (3) 大聖寺藩主廟所整備 (4) 山ノ下寺院群伝統的建造物群保存地区保存整備 3 平成25年度事業 (1) 事業費 10,687千円 (2) 事業内容 ① 大聖寺城跡発掘調査 ② 大聖寺藩主廟所測量調査 ③ 大聖寺藩邸大手長屋門跡発掘調査 ④ 加賀市大聖寺城跡等調査委員会の開催 ⑤ 大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会の開催等 (3) 財源内訳 国（遺跡発掘調査等事業費補助金 1/2） 5,000千円 県（文化財関係県費補助金 1/4 以内） 2,000千円 市（一般財源） 3,687千円 4 今後の事業展開 調査事業を継続するとともに、その成果を踏まえ、大聖寺城跡、藩邸庭園、藩邸大手長屋門、大聖寺藩主廟所、山ノ下寺院群等の整備事業を計画する。
予算額	10,687千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 文化課)

事業名	(仮称) 加賀大聖寺人物館整備事業 〔予算計上科目：10款5項3目中 (仮称) 加賀大聖寺人物館整備費〕
事業の目的	加賀市は、これまで全国的に名の知れた多くの人物を輩出しているが、加賀市民の認知度は低いのが現状である。加賀市出身の著名な人物を広く市民に知っていただくとともに、加賀大聖寺十万石文化の再生にもつながるよう(仮称)加賀大聖寺人物館の整備を行う。なお、人物館施設については、平成23年に寄贈された旧新家邸を活用する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成26年度 2 総事業費 122,000千円 3 事業内容 (1) 人物館で展示する人物の調査、資料収集 (H25、H26) (2) 人物紹介副読本の作成 (H25) (3) 地質調査、耐震診断、実施設計の実施 (H25) (4) 旧新家邸の改修工事 (H26) 4 平成25年度事業 (1) 事業費 8,660千円 (2) 事業内容 ① 人物館に展示する人物の資料を収集 ② 人物紹介副読本の作成 ③ 改修工事のための地質調査、耐震診断、実施設計の実施 (3) 財源内訳 市(合併特例債) 5,200千円 市(一般財源) 3,460千円 5 完成予定 平成27年3月
予算額	8,660千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 文化課)

事業名	九谷磁器窯跡整備事業 〔予算計上科目：10款5項4目中 古九谷窯跡環境整備費〕	
事業の目的	九谷焼発祥の地として、重要な国指定史跡九谷磁器窯跡の保存活用を目的として史跡公園整備を行い、保護保存に万全を期すとともに、分かりやすい標示を行うことで見学者の理解を深める整備を目指す。	
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成29年度（1期） 2 総事業費 3,334,400千円 3 事業内容 (1) 磁器窯跡地区整備 (2) 工房集落地区整備 (3) 便益施設、ガイダンス施設整備 (4) 展示保管施設整備 (5) 発掘調査 (6) 整備委員会の開催 4 平成25年度事業 (1) 事業費 48,900千円 (2) 事業内容 ① 整備工事 ② 発掘調査 ③ 整備委員会の開催等 (3) 財源内訳 国（史跡等保存整備事業費補助金 1/2） 24,050千円 県（文化財関係県費補助金 1/4 以内） 1,200千円 市（辺地対策事業債） 21,500千円 市（一般財源） 2,150千円 5 完成予定 平成29年度（1期）	
予算額	48,900千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(教育委員会 文化課)

事業名	伝統的建造物群保存地区保存整備事業 〔予算計上科目：10款5項4目中 加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備費 // 加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費〕	
事業の目的	北前船主集落の橋立地区、山村集落の東谷地区の両重要伝統的建造物群保存地区の景観維持と活性化を図るため、計画的に保存整備事業を継続していく。	
事業の概要	1 事業年度 平成18年度～ 2 事業内容 (1) 橋立重要伝統的建造物群保存地区 保存整備 (2) 東谷重要伝統的建造物群保存地区 保存整備 3 平成25年度事業 (1) 事業費 71,500千円 (2) 事業内容 ① 橋立地区 保存修理（修理4件、修景1件） ② 橋立地区 防災計画策定（調査委託、報告書印刷） ③ 橋立地区 保存啓発等（フォーラム開催、パンフレット印刷） ④ 東谷地区 保存修理（修理補助6件、修理設計1件） (3) 財源内訳 国（国宝重要文化財等保存整備事業費補助金 橋立1/2、東谷2/3） 42,305千円 県（伝統的建造物群保存地区保存事業費 橋立1/8以内、東谷1/12以内） 4,000千円 芸術文化振興基金助成金（1/2） 200千円 市（過疎対策事業債・辺地対策事業債） 15,200千円 市（一般財源） 9,795千円 4 完成予定 木造建築は30年で再修理を要するため、継続的に修理していく。	
予算額	71,500千円	

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(上下水道部 下水道課) 下水道事業特別会計

事業名	下水道処理区統合検討調査 〔予算計上科目：2款1項1目中 調査計画費〕
事業の目的	昭和50年の供用開始後40年近くが経過している片山津処理区については、加賀市浄化センターを始めとして施設の老朽化が進んできており、現在の事業形態を継続すべきか、又は大聖寺川処理区へ統合すべきか等の選択肢について比較検討を行い、今後の下水道事業を効率的に進めるための方針を定める。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 4,000千円 3 調査対象区域 公共下水道事業全体計画区域 片山津処理区 820ha 大聖寺川処理区 1,470ha 計 2,290ha 4 業務内容 (1) 下水道施設の検討 現在の事業形態の継続と大聖寺川処理区への統合を行う場合について、施設等の検討を行う。 ① 現在の事業形態を継続する場合 加賀市浄化センター（潮津町）及び大聖寺川浄化センター（大聖寺畑町）について、将来の増設・改築・更新・耐震補強等の概算事業費を算出する。 ② 大聖寺川処理区への統合を行う場合 加賀市浄化センターから流域下水道大聖寺川処理区への接続ルート、加賀市浄化センターの取壊し・跡地利用、大聖寺川浄化センターの汚水量増加等に係る検討を行う。また、これらに係る概算事業費を算出する。 (2) 財政計画の策定 比較検討案について、事業スケジュールを勘案の上、概算事業費と維持管理費を含めた財政計画を立案する。 5 財源内訳 市（一般会計繰入金） 4,000千円
予算額	4,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(上下水道部 下水道課) 下水道事業特別会計

事業名	加賀公共下水道事業（片山津・大聖寺川処理区管渠築造事業） 予算計上科目：2款1項1目中 片山津処理区管渠築造事業費（補助・単独） // 大聖寺川処理区管渠築造事業費（補助・単独）
事業の目的	公共下水道を整備することにより、公共用水域（河川・湖沼）の水質保全と処理対象区域の住環境を改善し、公衆衛生の向上を図る。
事業の概要	1 事業年度 昭和45年度～平成28年度 2 平成25年度事業 (1) 片山津処理区 ① 事業費 140,400千円 ② 事業箇所 動橋町2区・6区、梶井町、打越町、高塚町 ③ 事業内容 $\phi 200$VU 外管渠敷設 L=1,785m 整備面積 A=4.56ha 舗装本復旧 A=2,313㎡（H24 管渠敷設箇所） ④ 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 1/2） 40,100千円 市（下水道事業債） 93,500千円 受益者負担金 6,800千円 ⑤ 完成予定 平成26年3月 (2) 大聖寺川処理区 ① 事業費 391,600千円 ② 事業箇所 大聖寺緑が丘町、別所町（漆器団地）、作見町、山中温泉長谷田町 ③ 事業内容 $\phi 200$VU 外管渠敷設 L=3,706m 整備面積 A=10.96ha 舗装本復旧 A=4,785㎡（H24 管渠敷設箇所） ④ 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 1/2） 103,400千円 市（下水道事業債） 269,100千円 受益者負担金 19,100千円 ⑤ 完成予定 平成26年3月
予算額	532,000千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(上下水道部 経営企画課) 下水道事業特別会計

事業名	合併処理浄化槽設置助成事業 〔予算計上科目：2款1項4目中 合併処理浄化槽設置助成費〕		
事業の目的	平成23年度に行った汚水適正処理区域の見直しに伴い、平成24年度から合併処理浄化槽設置助成対象区域を拡大している。対象区域における合併処理浄化槽の設置を推進することにより、生活排水による公共用水域の汚濁防止を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成25年度 2 事業費 15,436千円 3 事業内容 (1) 設置費助成 13,636千円(32基設置見込み) (2) 撤去費助成 1,800千円(20基撤去見込み) (助成内容) 単独処理浄化槽等を廃止し、合併処理浄化槽を設置した場合、設置に係る費用の一部を助成 ○設置費助成額 5人槽・・・352千円/基(上限額) 7人槽・・・441千円/基(〃) 10人槽・・・588千円/基(〃) ○撤去費助成額 1基当たり 90千円/基(上限額) 4 財源内訳 国(合併処理浄化槽設置費補助金 1/3) 5,145千円 市(一般会計繰入金) 10,291千円		
予算額	15,436千円		

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(上下水道部 水道課) 水道事業会計

事業名	創設拡張事業 (予算計上科目：資本的支出2款1項1目 拡張事業費)
事業の目的	加賀市水道事業基本計画を達成することにより、常時、非常時を問わず市民に安全で安心の水を安定して供給する。
事業の概要	1 事業年度 平成22年度～平成28年度 2 総事業費 4,380,430千円 3 事業内容 (1) 山中浄水場更新事業 (2) 山中浄水場耐震化事業 (3) 新規送水管布設事業 (4) 配水管網整備事業（国道8号拡幅に伴う整備外） 4 平成25年度事業 (1) 事業費 169,979千円 (2) 事業内容 ① 山中浄水場更新事業（膜ろ過薬品洗浄設備工事）52,000千円 ② 基幹水道構造物の耐震化事業（山代配水池）4,760千円 ③ 新規送水管布設事業（舗装本復旧工事）27,400千円 ④ 配水管網整備事業（国道8号拡幅に伴う整備外）84,969千円 ⑤ その他諸経費 850千円 (3) 財源内訳 市（企業債）167,400千円 市（一般会計負担金）1,680千円 市（水道事業内部留保資金）899千円
予算額	169,979千円

平成25年度当初予算 主要事業等の概要

(上下水道部 水道課) 水道事業会計

事業名	水道施設統合化整備事業（七日市系） 〔予算計上科目：資本的支出 2 款 1 項 2 目 原水及び浄水施設費〕
事業の目的	老朽化した上水道センター（山代温泉1区）の水道監視操作設備の更新に併せ、山中浄水場（山中温泉栢野町）の中央監視操作設備に統合することにより、水道施設（取水、浄水、送水及び配水施設）における水道水供給の安定性の向上、効率的な水道水の運用及び維持管理業務の省力化を図り、水道事業運営基盤を強化する。
事業の概要	1 事業年度 平成25年度～平成26年度 2 総事業費 441,000千円（債務負担行為） (1) 平成25年度 176,400千円 (2) 平成26年度 264,600千円 3 事業内容 旧加賀市水道施設の遠方監視制御設備の更新に併せ、旧市町水道施設の監視制御設備を山中浄水場に統合し、市内全域の水道施設について集中監視を行うための制御システムを整備する。 ① 上水道センター内の旧加賀市水道施設の遠方監視制御設備を廃止 ② 山中浄水場内に中央監視操作設備を新設し、①を統合 ③ 山中浄水場内に、需要予測に基づく水道水の運用制御（取水、浄水、送水及び配水制御）及び市内に点在する全水道施設の監視・制御設備を新設 ※ 旧山中町区域の統合化は平成24年度までに整備済であり、今回、旧加賀市区域（＝七日市系）を統合化することにより全市域の統合が完了する。 4 財源内訳（平成25年度） 市（企業債） 176,400千円
予算額	176,400千円

2 平成24年度 3月補正予算

(1) 総括

各会計補正予算総括表 78

一般会計総括表 79

(2) 主要事業等の概要 81

(3) 補正予算の概要 91

(4) 繰越明許費調書 98

平成24年度 3月補正 各会計補正予算総括表

(単位：千円)

区 分		前 年 度 3月補正後 予 算 額	平成24年度			前年対 比伸率 %	備 考
			現計予算額	3月補正予算額	合 計		
一 般 会 計		30,824,100	29,862,800	709,100	30,571,900	△ 0.8	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9,327,588	9,521,712	23,431	9,545,143	2.3	
	後期高齢者医療	764,871	804,404	10,871	815,275	6.6	
	介 護 保 険	5,959,425	6,533,650	△ 1,500	6,532,150	9.6	
	下 水 道 事 業	2,971,497	3,029,580		3,029,580	2.0	繰越明許 費のみ
	山代温泉財産区	138,300	136,200		136,200	△ 1.5	
	山中温泉財産区	160,900	161,400		161,400	0.3	
	土地区画整理事業	98,171	84,400	△ 42,095	42,305	△ 56.9	
	計	19,420,752	20,271,346	△ 9,293	20,262,053	4.3	
企 業 会 計	病 院 事 業	5,832,212	6,766,300	0	6,766,300	16.0	財源更正
	水 道 事 業	5,033,203	6,168,412		6,168,412	22.6	
	計	10,865,415	12,934,712	0	12,934,712	19.0	
合 計		61,110,267	63,068,858	699,807	63,768,665	4.4	

平成24年度 3月補正予算 一般会計総括表

歳 出

(単位：千円 %)

款	前 年 度 3月補正後 予 算 額	平成24年度			前 年 対 比 伸 率	構 成 比
		現計予算額	3月補正予算額	合 計		
1 議 会 費	347,845	309,773		309,773	△ 10.9	1.0
2 総 務 費	3,092,248	2,767,383	1,888	2,769,271	△ 10.4	9.1
3 民 生 費	11,396,114	11,716,413	△ 11,734	11,704,679	2.7	38.3
4 衛 生 費	2,799,967	3,004,599	8,465	3,013,064	7.6	9.9
5 労 働 費	8,746	7,160		7,160	△ 18.1	0.0
6 農林水産業費	251,759	258,454	29,686	288,140	14.5	0.9
7 商 工 費	609,933	666,104	38,400	704,504	15.5	2.3
8 土 木 費	3,512,760	2,879,015	133,776	3,012,791	△ 14.2	9.9
9 消 防 費	1,169,037	980,917	313,306	1,294,223	10.7	4.2
10 教 育 費	2,611,105	3,191,895	△ 34,814	3,157,081	20.9	10.3
11 災 害 復 旧 費	13,100	2,436	127	2,563	△ 80.4	0.0
12 公 債 費	3,735,460	3,822,576		3,822,576	2.3	12.5
13 諸 支 出 金	1,266,026	246,075	230,000	476,075	△ 62.4	1.6
14 予 備 費	10,000	10,000		10,000	0.0	0.0
計	30,824,100	29,862,800	709,100	30,571,900	△ 0.8	100.0

歳 入

(単位：千円 %)

款	前 年 度 3月補正後 予 算 額	平成24年度			前 年 対 比 伸 率	構成比
		現計予算額	3月補正予算額	合 計		
1 市 税	9,029,200	8,978,000		8,978,000	△ 0.6	29.4
2 地 方 譲 与 税	288,000	280,000	△ 5,000	275,000	△ 4.5	0.9
3 利子割交付金	30,000	20,000	8,000	28,000	△ 6.7	0.1
4 配当割交付金	10,000	10,000		10,000	0.0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所得割交付金	3,000	3,000		3,000	0.0	0.0
6 地 方 消 費 税 金 交 付 金	700,000	710,000	△ 25,000	685,000	△ 2.1	2.2
7 ゴルフ場利用 税 交 付 金	100,000	90,000	7,000	97,000	△ 3.0	0.3
8 自動車取得税 交 付 金	60,000	60,000	11,000	71,000	18.3	0.2
9 地 方 特 例 金 交 付 金	91,729	27,000	1,354	28,354	△ 69.1	0.1
10 地 方 交 付 税	7,243,937	7,080,000	188,259	7,268,259	0.3	23.8
11 交通安全対策 特別交付金	11,000	10,000		10,000	△ 9.1	0.0
12 分担金及び 負担金	688,711	682,824	1,816	684,640	△ 0.6	2.2
13 使用料及び 手数料	433,204	419,848		419,848	△ 3.1	1.4
14 国 庫 支 出 金	4,966,673	4,683,780	137,127	4,820,907	△ 2.9	15.8
15 県 支 出 金	1,994,885	2,108,384	21,842	2,130,226	6.8	7.0
16 財 産 収 入	81,957	30,962		30,962	△ 62.2	0.1
17 寄 附 金	7,466	18,752	144	18,896	153.1	0.1
18 繰 入 金	531,965	380,465		380,465	△ 28.5	1.2
19 繰 越 金	883,569	457,674	268,958	726,632	△ 17.8	2.4
20 諸 収 入	343,604	415,271		415,271	20.9	1.4
21 市 債	3,325,200	3,396,840	93,600	3,490,440	5.0	11.4
計	30,824,100	29,862,800	709,100	30,571,900	△ 0.8	100.0

主 要 事 業 等 の 概 要

	ページ
1 企業立地奨励費 -----	82
2 道路照明灯等点検調査事業 -----	83
3 除雪機械整備事業（ロータリー除雪機械の更新） -----	84
4 消融雪施設整備事業 -----	85
5 市道 B 第 14 号線南加賀道路整備事業 -----	86
6 橋立漁港周辺整備事業（基本整備構想・計画策定業務） -	87
7 消防救急デジタル無線整備事業 -----	88
8 加賀体育館整備事業 -----	89
9 「加賀市減債基金」の積増し -----	90

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

(地域振興部 商工振興課)

事業名	企業立地奨励費 〔予算計上科目：7款1項2目中 企業立地奨励費〕		
事業の目的	企業誘致により、市民の雇用機会の拡大と中小規模事業者との受発注増加、市税収入の増加を図るため、市内に工場等を設置する事業者を支援する。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度 2 事業費 38,400千円 3 事業内容 加賀市企業立地促進条例に基づき、工場等の事業所を小塩辻工場団地に新設・増設し、加賀市民を新たに雇用する事業所に対し、設置に要した費用の一部について補助金を交付する。 (1) 補助対象 長津工業(株)加賀工場 第2工場〈増設：H24年10月操業開始〉 ① 所在地 加賀市小塩辻工場団地 ② 事業概要 建設機械用の履帯の加工・組立 ③ 投資額 384,948千円 ④ 補助率 建物及び設備投資額の10% ⑤ 加賀市民の雇用者増加数 6人 ⑥ 加賀工場の常用雇用者数 114人 4 財源内訳 市(一般財源) 38,400千円		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	(第1工場分) 46,800千円	38,400千円	85,200千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（建設部 土木課）

事業名	道路照明灯等点検調査事業 〔予算計上科目：8款2項1目中 道路附属物等管理費〕		
事業の目的	道路照明灯などの道路附属物の点検は、道路管理業務の一環であり、管理する附属物の現状を把握し、異常又は損傷を早期に発見するとともに、対策の要否を判定することにより第三者被害の恐れのある事故を防止し、安全かつ円滑な道路交通の確保を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成25年度 2 総事業費 11,600千円（繰越明許） 3 事業内容 (1)道路照明灯の安全点検（約1,200基のうち400基） 〔 柱脚部、開口部、支柱上部において、灯具の落下や支柱の倒壊につながる損傷の点検調査 〕 (2)トンネルの安全点検（四十九院隧道、大内トンネル） 〔 覆工コンクリートのひび割れ、剥離、剥落、劣化、浮き漏水等の点検調査 〕 4 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 5.5/10） 6,380千円 市（一般財源） 5,220千円 5 完成予定 平成25年12月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	0千円	11,600千円	11,600千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（建設部 土木課）

事業名	除雪機械整備事業（ロータリー除雪機械の更新） 〔予算計上科目：8款2項2目中 除雪機械整備費〕		
事業の目的	本除雪機械は平成2年に購入し20年以上経過しており、修繕についても現在では欠品となっている部品も多く、能力低下も著しいため、道路除雪に支障をきたしている。よって、除雪機械を更新し山中温泉地区の冬期の交通確保に万全を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成25年度 2 総事業費 36,000千円（繰越明許） 3 事業内容 ロータリー除雪車購入 1台（2.6m級、220kw級） 4 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 2/3） 24,000千円 市（除雪機械整備事業債） 12,000千円 5 完成予定 平成25年11月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	0千円	36,000千円	36,000千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（建設部 土木課）

事業名	消融雪施設整備事業 〔予算計上科目：8款2項2目中 消融雪施設整備費（補助）〕		
事業の目的	市道C第269号線他の消雪施設は、設置後25年以上経過し、施設の老朽化が進んでおり漏水が著しいため施設の更新を行う。 市道D第3号線消雪施設の取水ポンプは、設置後30年以上経過しており、点検調査の結果、取替えが必要となったため消雪未整備区間の整備設計を含めポンプの更新を行う。以上、更新を行い冬期の安定した消雪施設の運転により道路融雪、交通安全に対し万全を図る。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成25年度 2 総事業費 66,750千円（繰越明許） 3 事業内容 (1) 市道A第375号線（大聖寺敷地地内）消雪修繕 ・散水管布設替え L＝600m (2) 市道C第80号線（ // ）消雪修繕 ・ポンプ取替え 1台 (3) 市道C第269・361号線（松が丘地内）消雪修繕 ・実施設計業務 1式 ・操作盤取替え 1式 ・散水管布設替え L＝200m (4) 市道D第3号線（山中温泉東町地内）消雪修繕 ・実施設計業務 1式 ・ポンプ取替え 2台 4 財源内訳 国 （社会資本整備総合交付金 6/10） 39,000千円 市 （道路整備事業債） 27,700千円 市 （一般財源） 50千円 5 完成予定 平成25年11月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	0千円	66,750千円	66,750千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（建設部 土木課）

事業名	市道B第14号線南加賀道路整備事業（河南町～山代温泉1区） 〔予算計上科目：8款2項3目中 南加賀道路整備事業費〕		
事業の目的	本路線は、加賀ICと小松空港や小松ICを結び、加賀温泉郷にアクセスする南加賀道路の一区間である。当該路線を整備することにより、国道8号などの主要幹線道路の慢性的な渋滞解消と加賀温泉郷の観光発展を促進する。		
事業の概要	1 事業年度 平成18年度～平成26年度 2 総事業費 1,745,000千円 3 事業内容 (1) 施工延長 L=610m（車道6.5m、片側歩道2.5m） (2) 橋梁架設 N=1基 4 平成24年度事業 (1) 事業費 327,500千円（一部繰越明許） （当初予算 257,500千円、補正予算70,000千円） (2) 事業内容 当初 ① 橋梁上部 N=1基 ② 補強土壁 N=1式 ③ 測量試験 N=1式 補正 ① 跨道橋下部 N=2基 (3) 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 5.5/10） 176,000千円 市（合併特例債） 143,900千円 市（一般財源） 7,600千円 5 完成予定 平成27年3月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	257,500千円	70,000千円	327,500千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（建設部 建築課）

事業名	橋立漁港周辺整備事業（基本整備構想・計画策定業務） 〔予算計上科目：8款5項7目中 景観形成推進費〕		
事業の目的	橋立漁港周辺において、尼御前岬・伝統的建造物群保存地区など観光資源を有機的に結び付けた散策ルートの整備及び港らしい町並み修景を創出する。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成25年度 2 事業内容 平成25年度末までに全体基本構想・計画の策定を行い、平成26年度に具体的な詳細計画の策定を行う。平成27年度以降にて、現地整備事業を順次行う予定である。 また、関連事業として、平成25年度当初予算において漁港施設の整備事業を地域振興部（農林水産課）予算として計上している。 3 平成24年度事業 （1）事業費 4,970千円（繰越明許） （2）事業内容 町並み現地調査、地元住民とのワークショップ開催、整備内容の検討等 （3）財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 5/10） 2,485千円 市（一般財源） 2,485千円 4 完成予定 平成26年3月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	0千円	4,970千円	4,970千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（消防本部 消防課）

事業名	消防救急デジタル無線整備事業 〔予算計上科目：9款1項3目中 通信設備整備費〕		
事業の目的	電波法に基づくアナログ無線の使用期限が平成28年5月とされていることに対応し、消防救急無線のデジタル化移行を実施する。 デジタル化により、通信セキュリティの向上や効率的な部隊運用など、指令管制業務の充実強化を図り、災害の早期鎮圧、被害の軽減を実現し市民生活の安定に資する。		
事業の概要	1 事業年度 平成24年度～平成25年度 2 総事業費 315,715千円 3 事業内容 (1) 電波伝搬調査及び基本設計 315千円 (平成24年度実施済) 〔当初予算 2,000千円 3月補正 △1,685千円(実績に基づき減額)〕 (2) 実施設計及び設置工事 315,400千円 (平成24年度～平成25年度) 〔3月補正 315,400千円(追加)〕 4 平成24年度事業（今回追加分） (1) 事業費 315,400千円（繰越明許） (2) 事業内容 ① 実施設計 10,000千円 ② 施行監理業務 4,000千円 ③ 無線免許申請 1,400千円 ④ 設置工事 300,000千円 (3) 財源内訳 国（緊急消防援助隊設備整備費補助金 基準額の1/2） 74,616千円 市（合併特例債） 228,700千円 市（一般財源） 12,084千円 5 完成予定 平成26年3月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	2,000千円	313,715千円	315,715千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

（教育委員会 スポーツ課）

事業名	加賀体育館整備事業 〔予算計上科目：10款6項6目中 加賀体育館整備費〕		
事業の目的	耐震診断（平成23年度3月補正予算対応）結果に基づき、災害時の避難所にも指定されている加賀体育館の耐震改修を実施する。		
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成26年度 2 総事業費 161,144千円 3 事業内容 (1) 災害時の避難先でもある加賀体育館の耐震基準を満たすための耐震補強工事を実施 (2) 老朽化した屋根、雨樋、カーテンの修繕、照明設備の更新、ルール変更に伴うバスケットボール競技ライン等を更新 4 平成24年度事業 (1) 事業費 8,744千円（繰越明許） (2) 事業内容 耐震補強・改修工事に先立って実施設計を行う。 (3) 財源内訳 国（社会資本整備総合交付金 1/3） 2,040千円 市（保健体育施設整備事業債） 4,000千円 市（一般財源） 2,704千円 5 完成予定 平成26年9月		
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額
	0千円	8,744千円	8,744千円

平成24年度3月補正予算 主要事業等の概要

(総務部 財政課)

事業名	「加賀市減債基金」の積増し 〔予算計上科目：13款2項2目中 減債基金積立金（積増分）〕																							
事業の目的	将来における一般会計の財政負担の軽減を図るため、中期財政計画（平成24年度時点修正版）における「長期的な財政運営上の課題への対応方針」に基づき、減債基金の積増しを行う。																							
事業の概要	1 事業年度 平成23年度～平成27年度 2 総事業費 約980,000千円（減債基金の積立目標額） 3 事業内容 合併特例措置の終了により、平成28年度以降に見込まれる普通交付税の減額及び統合新病院建設事業に係る開業直後（平成29～32年度）の一般会計の財政負担への対応として、中期財政計画（平成24年度時点修正版）において、減債基金の積増しを行うこととしている。 今後、平成27年度までに230,000千円を積増し、980,000千円程度の残高を確保する計画に基づき、今回の積増しを行う。 4 平成24年度積増額 230,000千円 減債基金残高の見通し (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次区分</th><th colspan="2">説明</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度末残高</td><td colspan="2"></td><td>746,190</td></tr> <tr> <td rowspan="3">平成24年度中増減</td><td rowspan="2">積立額</td><td>利子分</td><td>1,000</td></tr> <tr> <td>積増分</td><td>230,000</td></tr> <tr> <td colspan="2">取崩額</td><td>0</td></tr> <tr> <td>平成24年度末残高（見込み）</td><td colspan="2"></td><td>977,190</td></tr> </tbody> </table> 今後の利子分の積増しにより平成26年度末には残高が980,000千円に達する見込みである。 5 財源内訳 市（一般財源） 230,000千円			年次区分	説明		金額	平成23年度末残高			746,190	平成24年度中増減	積立額	利子分	1,000	積増分	230,000	取崩額		0	平成24年度末残高（見込み）			977,190
年次区分	説明		金額																					
平成23年度末残高			746,190																					
平成24年度中増減	積立額	利子分	1,000																					
		積増分	230,000																					
	取崩額		0																					
平成24年度末残高（見込み）			977,190																					
予算額	現計予算額	3月補正予算額	補正後の予算額																					
	0千円	230,000千円	230,000千円																					

☐ …主要事業等の概要（81～90ページ）に詳細説明があります。

☆…国の補正予算（緊急経済対策）関係

平成24年度一般会計 3月補正予算の概要

（単位：千円）

◎ 歳 出

709,100

1 総 務 費

① 職員厚生事務費（臨時職員退職慰労金） 1,888

2 民 生 費

① 国民健康保険特別会計繰出金（保険基盤安定費繰出金） 14,144

② // （財政安定化支援事業費繰出金） △ 2,594

③ 介護保険特別会計繰出金（事業費繰出金） △ 614

④ 後期高齢者医療特別会計繰出金（広域連合事務費繰出金） △ 2,848

⑤ // （保険基盤安定繰出金） △ 3,975

⑥ 子ども手当給付費〔財源更正〕 0

⑦ 私立保育園運営助成費（特別保育助成費） △ 15,847

3 衛 生 費

① 南加賀急病センター事業負担金 △ 3,040

② 統合新病院建設事業出資金 13,100

③ 小松加賀環境衛生事務組合運営負担金 △ 1,595

4 農林水産業費

☆① 県営農業用施設整備負担金（老朽ため池整備事業他） 19,138

☆② 県営農業水利施設保全事業負担金（新堀川潮止水門他） 5,795

③ 森林環境保全費（緩衝帯整備事業）〔財源更正〕 0

④ 県営林道整備費（林道安谷線） △ 3,407

☆⑤ 県営漁港修築負担金（橋立漁港） 8,160

5 商 工 費

① 企業立地奨励費 38,400

6 土 木 費

① 急傾斜地対策負担金（大聖寺岡町） 914

☆② 道路附属物等管理費（道路照明灯等点検調査事業） 11,600

☆③ 除雪機械整備費（ロータリー除雪機械の更新） 36,000

☆④ 消融雪施設整備費（補助）（散水管更新事業他） 66,750

⑤ 一般道路新設改良費（補助）（市道C第461号線 柴山町～干拓町）	△ 15,015
⑥ 側溝整備費（単独）〔財源更正〕	0
⑦ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費（補助） （市道C第248号線 上河崎町～小菅波町）	△ 4,150
☆⑧ 南加賀道路整備事業費（市道B第14号線 河南町～山代温泉1区）	70,000
⑨ 県営道路整備負担金（南加賀道路他）	22,240
⑩ 県営港湾整備負担金（塩屋港）	720
⑪ 県営街路整備事業負担金（山代栗津線他）	△ 62,654
⑫ 土地区画整理事業特別会計繰出金（長谷田西土地区画整理事業繰出金）	13,392
⑬ // （橋立土地区画整理事業繰出金）	△ 95
⑭ 公園長寿命化対策費（都市公園基礎調査業務他）	△ 10,896
☆⑮ 景観形成推進費（橋立漁港周辺整備事業）	4,970

7 消 防 費

☆① 通信設備整備費（消防救急デジタル無線整備事業）	313,715
② 消防水利整備費（黒瀬町）	△ 409
③ 庁舎等施設整備費（作見分団車庫整備事業）〔財源更正〕	0

8 教 育 費

☆① 小学校理科教育設備費（理科教育振興用備品購入費）	900
☆② 中学校理科教育設備費（ // ）	700
③ 小学校校舎等整備費（補助）	△ 7,541
④ // （単独）	△ 10,475
⑤ 小学校体育館整備費（補助）〔財源更正〕	0
⑥ // （単独）	△ 2,177
⑦ 中学校校舎等整備費（補助）	△ 3,447
⑧ // （単独）	△ 5,518
⑨ 文化会館費（維持補修費）	△ 16,000
☆⑩ 加賀体育館整備費（加賀体育館耐震補強・改修工事実施設計業務）	8,744

（橋立小中学校防音
改築事業費確定に
伴う精算）

9 災害復旧費

① 県営農業用施設災害復旧事業負担金（新堀川潮止水門災害復旧事業）	127
-----------------------------------	-----

10 諸支出金

① 減債基金積立金（「加賀市減債基金」の積増し）	230,000
--------------------------	---------

◎ 歳 入	709,100
1 地方譲与税	
① 自動車重量譲与税	△ 5,000
2 利子割交付金	
① 利子割交付金	8,000
3 地方消費税交付金	
① 地方消費税交付金	△ 25,000
4 ゴルフ場利用税交付金	
① ゴルフ場利用税交付金	7,000
5 自動車取得税交付金	
① 自動車取得税交付金	11,000
6 地方特例交付金	
① 地方特例交付金	1,354
7 地方交付税	
① 普通交付税	188,259
8 分担金及び負担金	
① 農林水産業費分担金（漁港修築事業費分担金）	816
② 土木費分担金（急傾斜地崩壊対策分担金）	1,000
9 国庫支出金	
① 民生費国庫負担金	△ 55,341
② 土木費国庫補助金	94,227
③ 消防費国庫補助金	74,616
④ 教育費国庫補助金	△ 2,969
⑤ 特定防衛施設周辺整備調整交付金	26,594
10 県支出金	
① 民生費県負担金	27,799
② 民生費県補助金	△ 7,837
③ 農林水産業費県補助金	1,880
11 寄 附 金	
① 土木費寄附金	144
12 繰 越 金	
① 純繰越金	268,958

13 市 債

① 臨時財政対策債	△ 179,500
② 合併特例債	252,000
③ その他市債	21,100

平成24年度国民健康保険特別会計 3月補正予算の概要

(単位：千円)

◎ 歳 出	23,431
1 保険給付費	
① 一般被保険者療養給付費負担金〔財源更正〕	0
2 共同事業拠出金	
① 高額医療費共同事業医療費拠出金	6,300
3 基金積立金	
① 国保調整基金積立金（利子分）	400
② // （積増分）	16,731
◎ 歳 入	23,431
1 国庫支出金	
① 高額医療費共同事業負担金	1,439
2 療養給付費交付金	
① 退職者等医療費交付金	△ 20,228
3 県支出金	
① 高額医療費共同事業負担金	1,439
4 財産収入	
① 調整基金利子	400
5 繰 入 金	
① 一般会計繰入金（保険基盤安定費繰入金）	14,144
② // （財政安定化支援事業費繰入金）	△ 2,594
6 繰 越 金	
① 純繰越金	28,831

平成24年度後期高齢者医療特別会計 3月補正予算の概要

(単位：千円)

◎ 歳 出	10,871
1 後期高齢者医療広域連合納付金	
① 後期高齢者医療保険料納付金	13,719
② 後期高齢者医療広域連合事務費納付金	△ 2,848
◎ 歳 入	10,871
1 後期高齢者医療保険料	
① 特別徴収保険料（現年度分）	1,170
② 普通徴収保険料（ 〃 ）	16,524
2 繰 入 金	
① 一般会計繰入金（広域連合事務費繰入金）	△ 2,848
② 〃 （保険基盤安定繰入金）	△ 3,975

平成24年度介護保険特別会計 3月補正予算の概要

(単位：千円)

◎ 歳 出（介護保険事業勘定）	0
1 地域支援事業費	
① 二次予防事業費	△ 591
② 一次予防事業費	△ 728
③ 介護予防ケアマネジメント事業費（介護予防事業費）	△ 8,065
④ 〃 （包括的支援事業費）	8,065
⑤ 権利擁護事業費	△ 190
⑥ 任意事業費	△ 3,591
⑦ 〃 （補助）（市町村認知症施策総合推進事業）	5,100
◎ 歳 入（介護保険事業勘定）	0
1 国庫支出金	
① 介護予防事業費交付金	△ 2,346
② 包括的支援事業・任意事業費交付金	1,119
③ 介護保険事業費等補助金（市町村認知症施策総合推進事業補助金）	5,100
2 県支出金	
① 介護予防事業費交付金	△ 1,173
② 包括的支援事業・任意事業費交付金	559

3 支払基金交付金	
① 地域支援事業支援交付金	△ 2,722
4 繰入金	
① 一般会計繰入金（介護予防事業費繰入金）	△ 1,173
② // （包括的支援事業費繰入金）	559
③ 介護保険事業調整基金繰入金	77
◎ 歳出（介護サービス事業勘定）	△ 1,500
1 総務費	
① 一般経費	406
2 事業費	
① 臨時職員給与費	1,790
② 介護予防支援事業費	△ 3,696
◎ 歳入（介護サービス事業勘定）	△ 1,500
1 サービス収入	
① 介護予防サービス計画費収入	△ 1,500

平成24年度土地区画整理事業特別会計 3月補正予算の概要

（単位：千円）

◎ 歳出	△ 42,095
1 長谷田西土地区画整理事業費	
① 市債償還元金〔財源更正〕	0
2 橋立土地区画整理事業費	
① 土地区画整理事業費	△ 42,095
◎ 歳入	△ 42,095
1 長谷田西土地区画整理事業収入	
① 保留地処分金	△ 13,032
② 精算徴収金	△ 300
③ 一般会計繰入金	13,392
④ 雑入（保留地水道引込料）	△ 60
2 橋立土地区画整理事業収入	
① 一般会計繰入金	△ 95
② 土地区画整理事業債	△ 42,000

平成24年度病院事業会計 3月補正予算の概要

(単位：千円)

【資本的収支】

◎ 支 出	0
1 統合新病院資本的支出	
① 用地費〔財源更正〕	0
◎ 収 入	0
1 統合新病院資本的収入	
① 企業債（病院事業債）	△ 13,100
② 一般会計出資金（再編債）	13,100

平成24年度 一般会計 3月補正予算 繰越明許費調書

(単位：千円)

款	項	事業名	24年度 予算額	24年度 支出予定額	翌年度 繰越予定額	左の財源内訳				説 明
						未収入特定財源			一般財源	
						国・県 支出金	市債	その他		
3	2	開陽保育園 整備費補助 金	114,502	0	114,502	114,502			0	保育園の新築工事に伴う仮 設園舎の設置にあたり、関係 者との協議に不測の日数を要 し、年度内の完了が困難なた め。 完了予定 平成25年5月
4	1	統合新病院 建設事業出 資金	302,400	242,500	59,900		59,900		0	病院事業会計における統合 新病院の用地取得について、 農地転用手続きに不測の日数 を要し、事業費の一部を翌年 度に繰り越すこととしたた め。 完了予定 平成25年8月
6	1	県営農業用 施設整備事 業負担金	23,708	2,788	20,920		18,600		2,320	農業用水石綿管対策事業に おいて、石綿管の位置の特定 等に不測の日数を要したこと 及び国の緊急経済対策事業に 係る県の事業着手が年度末と なることから、年度内の完了 が困難なため。 完了予定 平成25年11月
6	1	県営農業水 利施設保全 事業負担金	5,795	0	5,795		5,700		95	国の緊急経済対策事業（新 堀川潮止水門の避雷針施設整 備）に係る県の事業着手が年 度末となることから、年度内 の完了が困難なため。 完了予定 平成25年12月
6	2	県営広域林 道整備負担 金 （林道安谷 線）	5,683	2,309	3,374		3,300		74	今年度の施工場所に至る林 道の法面崩壊に伴う通行止め の解消に不測の日数を要し、 年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年11月
6	3	県営漁港修 築事業負担 金	19,263	11,103	8,160		7,300	816	44	国の緊急経済対策事業に係 る県の事業着手が年度末とな ることから、年度内の完了が 困難なため 完了予定 平成25年11月
8	2	道路照明灯 等点検調査 事業	11,600	0	11,600	6,380			5,220	国の緊急経済対策事業とし て実施する事業であり、その 着手が年度末となることか ら、年度内の完了が困難なた め。 完了予定 平成26年3月

(単位：千円)

(単位：千円)									
款 項	事業名	24年度 予算額	24年度 支出予定額	翌年度 繰越予定額	左の財源内訳				説 明
					未収入特定財源			一般財源	
					国・県 支出金	市債	その他		
8 2	除雪機械整備事業 (ロータリー除雪機 械)	36,000	0	36,000	24,000	12,000		0	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難であるため。 完了予定 平成25年11月
8 2	消融雪施設 整備事業	66,750	0	66,750	39,000	27,700		50	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年11月
8 2	南加賀道路 整備事業 (市道B第 14号線)	327,500	122,036	205,464	110,434	90,200		4,830	橋梁上部工事における、橋桁製作に不測の日数を要したこと及び市道橋下部工事は、国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年11月
8 5	山代温泉東 口九谷広場 整備事業	55,000	447	54,553	25,850	27,200		1,503	広場の活用方法や広場施設の設計内容について、関係者との協議に不測の日数を要し、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年7月
8 5	加美谷線整 備事業	18,900	9,900	9,000	4,400	4,600		0	用地測量において、土地の境界の確定に不測の日数を要し、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年9月
8 5	橋立漁港周 辺整備事業 (基本整備 構想・計画 策定業務)	4,970	0	4,970	2,485			2,485	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成26年3月
9 1	消防救急デ ジタル無線 整備事業	315,400	0	315,400	74,616	228,700		12,084	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成26年3月
9 1	山中統合分 回車庫整備 事業	38,500	20,200	18,300		18,300		0	統合分回車庫の設計内容について、関係者との協議に不測の日数を要したこと及び冬季の積雪により、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年5月

(単位:千円)

(単位：千円)

款	項	事業名	24年度 予算額	24年度 支出予定額	翌年度 繰越予定額	左の財源内訳			一般財源	説 明
						未収入特定財源				
						国・県 支出金	市債	その他		
10	2	小学校理科 教育振興用 備品購入事業	1,800	900	900	450			450	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年12月
10	3	中学校理科 教育振興用 備品購入事業	1,400	700	700	350			350	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年12月
10	6	加賀体育館 整備事業	8,744	0	8,744	2,040	4,000		2,704	国の緊急経済対策事業として実施する事業であり、その着手が年度末となることから、年度内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年9月
合 計			1,357,915	412,883	945,032	404,507	507,500	816	32,209	

平成24年度 下水道事業特別会計3月補正予算 繰越明許費調書

(単位：千円)

(単位：千円)

款 項	事業名	24年度 予算額	24年度 支出予定額	翌年度 繰越予定額	左の財源内訳				説 明
					未収入特定財源			既収入 特定財源	
					国・県 支出金	市債	その他		
2 1	片山津処理区 管渠築造事業 (補助)	78,700	69,700	9,000	4,500	4,100		400	住宅密集地区（動橋町 2区）において、交通を 確保しつつ円滑に事業を 進めるため、施工時期を 調整したことにより、一 部工事の発注時期が年度 末となり、年度内の完了 が困難なため。 完了予定 平成25年5月
	片山津処理区 管渠築造事業 (単独)	65,800	63,000	2,800		2,700		100	
	大聖寺川処理 区管渠築造事 業（補助）	123,700	102,700	21,000	10,465	9,500		1,035	住宅密集地区（大聖寺 緑が丘町）において、交 通を確保しつつ円滑に事 業を進めるため、施工時 期を調整したことによ り、一部工事の発注時期 が年度末となり、年度内 の完了が困難なため。 完了予定 平成25年7月
	大聖寺川処理 区管渠築造事 業（単独）	22,550	20,550	2,000		1,900		100	
	片山津処理区 処理場築造事 業（補助）	144,900	79,600	65,300	35,901	29,300		99	非常用発電設備の整備 において、東日本大震災 による需要が急増したこ とから、発電機の納入に 不測の日数を要し、年度 内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年5月
	片山津処理区 雨水管渠築造 事業（補助）	448,000	64,200	383,800	191,859	191,900		41	雨水排水ポンプ施設の 配置及び施工方法等につ いて、関係者との協議に 不測の日数を要し、年度 内の完了が困難なため。 完了予定 平成25年8月
	県営流域下水 道事業負担金	85,990	55,015	30,975		30,900		75	県営管渠築造工事にお いて、関係者との協議に 不測の日数を要し、年度 内の完了が困難となり、 事業費の一部を翌年度に 繰り越すこととしたた め。 完了予定 平成25年8月
合 計		969,640	454,765	514,875	242,725	270,300	0	1,850	

平成25年第1回加賀市議会定例会議案概要

◇報告案件（1件）

報告 番号	件 名	概 要
1	専決処分の報告について(平成24年度加賀市水道事業会計補正予算) ※専決第1号(平成25年1月25日専決)	補正額 70,000千円 補正後 6,168,412千円

◇予算案件・当初（10件）

議案 番号	件 名	概 要
1	平成25年度加賀市一般会計予算	予算額 28,296,000千円
2	平成25年度加賀市国民健康保険特別会計予算	予算額 9,014,000千円
3	平成25年度加賀市後期高齢者医療特別会計予算	予算額 806,000千円
4	平成25年度加賀市介護保険特別会計予算	予算額 6,731,400千円
5	平成25年度加賀市下水道事業特別会計予算	予算額 2,736,000千円
6	平成25年度加賀山代温泉財産区特別会計予算	予算額 138,400千円
7	平成25年度加賀山中温泉財産区特別会計予算	予算額 162,000千円
8	平成25年度加賀市土地区画整理事業特別会計予算	予算額 94,900千円
9	平成25年度加賀市病院事業会計予算	予算額 5,692,800千円
10	平成25年度加賀市水道事業会計予算	予算額 4,162,800千円

◇予算案件・補正（7件）

議案 番号	件 名	概 要
11	平成24年度加賀市一般会計補正予算	補正額 709,100千円 補正後 30,571,900千円
12	平成24年度加賀市国民健康保険特別会計補正予算	補正額 23,431千円 補正後 9,545,143千円
13	平成24年度加賀市後期高齢者医療特別会計補正予算	補正額 10,871千円 補正後 815,275千円
14	平成24年度加賀市介護保険特別会計補正予算	補正額 △1,500千円 補正後 6,532,150千円

15	平成24年度加賀市下水道事業特別会計補正予算	補正額 補正後	0千円 3,029,580千円 (繰越明許費のみ)
16	平成24年度加賀市土地区画整理事業特別会計補正予算	補正額 補正後	△42,095千円 42,305千円
17	平成24年度加賀市病院事業会計補正予算	補正額 補正後	0千円 6,766,300千円 (財源更正のみ)

◇条例案件（35件）

議案 番号	件 名	概 要
18	加賀市暴力団排除条例の一部改正について	暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴い、条すれの改正を行うもの。
19	加賀市新型インフルエンザ等対策本部条例について	新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、新型インフルエンザ等対策本部の設置に関して必要な事項を新たに定めるもの。
20	加賀市職員の再任用に関する条例について	定年退職者等を再任用することに関して必要な事項の改正等を行うもの。
21	加賀市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当を支給できるよう改正を行うもの。また、人事院勧告に基づき、標準の勤務成績である55才以上の職員の昇給を停止する等の改正を行うもの。
22	加賀市職員退職手当条例等の一部改正について	人事院から示された退職給付に係る官民比較調査の結果等を踏まえ、較差是正を図るため、段階的に退職手当を引き下げる改正を行うもの。また、定年前早期退職特例措置の内容を拡充し、募集に応じ認定された退職者に適用するよう改正を行うもの。
23	加賀市税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、地方税に関する不利益処分等について、行政手続法の規定に基づき理由を附記するよう改正を行うもの。
24	加賀市国民健康保険税条例の一部改正について	
25	加賀市手数料条例の一部改正について	都市の低炭素化の促進に関する法律の施行に伴い、低炭素建築物新築等計画認定審査手数料を設けるもの。
26	加賀市美術品等購入基金条例の廃止について	基金設置の所期の目的を達成したことなどにより廃止するもの。
27	加賀市福祉基金条例の廃止について	

28	加賀市国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について	
29	山中温泉医療センター基金条例の廃止について	
30	加賀市農林業活性化基金条例の廃止について	
31	加賀市青少年問題協議会条例の廃止について	加賀市教育振興基本計画に基づく、青少年の健全育成に関する総合施策を担う組織の見直しに伴い、加賀市青少年問題協議会を廃止するもの。
32	加賀市図書等自動販売機の適正な設置及び管理に関する条例の一部改正について	加賀市青少年問題協議会条例の廃止に伴い、有害図書等の指定に関する所要の改正を行うもの。
33	加賀市社会体育夜間照明施設条例の一部改正について	加賀市立黒崎小学校及び庄小学校の野外運動場の夜間照明施設の廃止に伴う所要の改正を行うもの。
34	加賀市医療費助成条例の一部を改正する条例の一部改正について	平成24年度末まで行うこととされていた70歳以上75歳未満の者に対する国の医療費負担軽減措置が、平成25年度も継続されたことに伴い、後期高齢者医療に加入しない者に対する助成割合を自己負担額の2分の1とする規定の施行日を平成26年4月1日に変更するもの。
35	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	障害者自立支援法の一部改正に伴い、関係条例の所要の改正を行うもの。
36	加賀市地域生活支援事業の実施に関する条例の一部改正について	障害者自立支援法の一部改正に伴い、意思疎通支援事業等の新たな事業を追加するもの。
37	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	石川県企業立地促進計画との整合性を図るため、重点促進地域の名称を変更する等の改正を行うもの。
38	加賀片山津温泉街湯公園条例の一部改正について	観光施設としての弾力的な運営の必要性を踏まえ、利用時間及び休業日を規則で定めるよう改正を行うもの。
39	山代温泉総湯条例の一部改正について	加賀温泉郷全体の情報発信強化を図るため、施設の名称に「加賀」を付加するもの。また、観光施設としての弾力的な運営の必要性を踏まえ、利用時間及び休業日を規則で定めるよう改正を行うもの。
40	山中温泉共同浴場条例の一部改正について	

41	加賀市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例について	地域主権一括法による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い、省令で定める基準を参酌して、移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を新たに定めるもの。
42	加賀市道路構造基準等を定める条例について	地域主権一括法による道路法の一部改正に伴い、政令で定める基準を参酌して、道路の構造の技術的基準を新たに定めるもの。
43	加賀市準用河川に係る河川管理施設等の構造に関する基準を定める条例について	地域主権一括法による河川法の一部改正に伴い、政令で定める基準を参酌して、準用河川の管理施設等の構造の技術的基準を新たに定めるもの。
44	加賀市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当を支給できるよう改正を行うもの。
45	山代温泉古総湯条例の一部改正について	加賀温泉郷全体の情報発信強化を図るため、施設の名称に「加賀」を付加するもの。 また、観光施設としての弾力的な運営の必要性を踏まえ、利用時間及び休業日を規則で定めるよう改正を行うもの。
46	財産区の名称を変更する条例について	加賀温泉郷全体の情報発信強化を図るため、財産区関連の名称に「加賀」を付加する改正等を行うもの。
47	山代温泉財産区管理会条例の一部改正について	
48	山代温泉財産区事業調整基金条例の一部改正について	
49	山中温泉財産区管理会条例の一部改正について	
50	山中温泉財産区事業調整基金条例の一部改正について	
51	山中温泉財産区温泉条例の一部改正について	
52	山中温泉財産区営駐車場条例の一部改正について	